

## 2021 年度 研究所事業報告書

研究所名	歴史都市防災研究所
------	-----------

## I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2020 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなってできるだけわかりやすく記述してください。なお、2020 年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式 B に記述のうえ提出してください。

文化遺産・歴史都市の保全活用と災害安全の両分野をつなぐ総合的な研究領域である文化遺産防災学を創発し、これに関する研究・教育・社会連携、さらには情報基盤の拠点形成を目標に据えた活動を、継続的に実施した。以下、具体的な成果について、活動項目毎に要約する。

- ① 歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会:** 歴史文化都市の将来の災害リスクを明らかにし、災害時の対応や復興時の状況を歴史的背景とともに具体的に評価していくために、古文書や絵図や修理報告書をはじめ、京都などの歴史都市や火災で焼失した首里城などの復元遺産を含む文化遺産を対象にした、新たに人の流動データを使用するなどして定型的・非定型的の両面で大規模かつ動的な時空間情報の取得・解析を進展させ、多様な側面からの歴史災害都市研究ならびに歴史都市の将来に関するジオデザインに活用するための情報基盤整備と地理空間評価の手法開発を継続した。
- ② 歴史文化都市の防災技術研究部会:** 「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市・地域の防災技術を確立すること目的に、昨年度までの文化遺産防災技術に関連する研究活動を継続的に発展させて以下の研究を行った。(1) 歴史的な文化財建造物の耐震補強・改修技術の開発、(2) 歴史文化都市の防耐火システムと機器の開発、(3) 歴史文化地域の地盤環境を踏まえた防災技術の開発、加えて出石防災計画策定受託研究に絡め、出石伝建地区の土砂災害・洪水氾濫危険性の評価を行った。
- ③ 歴史文化都市の防災デザイン研究部会:** 上記①、②の研究成果を統合し、実際に生きた歴史文化都市に実装するためには、受け継がれた地域環境とコミュニティ社会の特性とニーズに合った、「環境的・文化的に重要な空間を保全しつつ開発する」ための計画と政策が不可欠となる。地域固有の物理的・社会的・歴史的特性をデータ基盤により把握し、その特性分析により未来の減災の知恵と呼べる技術を抽出し、これを将来の地域環境と地域社会の時間軸上に実践的に位置づけようとする防災デザイン・コミュニティデザインの視点に立脚した取組みを行ない、一連の研究プロセスの総合化を担った。2019 年度に事前調査に引き続き、受託研究としても受け入れた出石伝建地区の防災計画策定に着手した。
- ④ 国際展開・社会連携 研究支援プログラム:** 2020 年度はコロナ禍の中でも 80 名以上の応募者があったが、研修の実施は諦め、その代替プロジェクトとしてウェビナーシリーズ「文化遺産防災における人材育成:ポストコロナの挑戦と創生」やオンラインワークショップ「文化遺産防災の優秀な取り組み」を実施した。ワークショップにおいては事前に過年度研修生を対象とし、研修後における母国での文化遺産防災への取り組みについて把握することを目的とした過年度研修者からの公募から選定された優秀な取り組みに対しての発表と表彰式を 3 日に渡るワークショップとして実施した。それぞれのウェビナーやワークショップへの参加者は 100~150 名以上であり、52 か国以上からの参加であった。国際研修の振り返りとして各年度からの研修生による母国での文化遺産防災関連の活動報告をインタビュー形式で事前に取りまとめ、ワークショップ中ではそれらの動画を放映するなど、本国際研修の国際社会への貢献の再確認と文化遺産防災の人材育成という世界的ニーズに対する本国際研修継続の必要性が確認された。

**研究所のその他主催事業等:** 研究所の柱となる年次事業として「第 15 回歴史都市防災シンポジウム」をオンライン (Zoom) で 7/17 に開催した。国内外から 150 名の参加し、計 44 件の研究発表が行われ活発な討議があった。「立命館土曜講座」では「歴史都市ならではの防災について考える—観光客の目線から—」をテーマに公開講演会として市民向け講義を提供した。定例研究会も、年度内に 7 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。他にも情報発信として学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol. 15」や「京都歴史災害研究 第 23 号」を刊行した。地域社会への貢献を目指した事業である「第 15 回地域の安全安心マップコンテスト」では 30 件の応募があり、創意工夫を凝らした作品が全国から寄せられ、社会的な認知を着実に広めつつある。そのうち最優秀賞作品は、大臣賞候補として推薦した第 25 回全国児童生徒地図作品展で 3063 点の作品の中から、奨励賞を受賞した。また、本年度は同コンテストの協賛企業と連携し、スフィア基準に即した避難所運営を想定した防災備品の展示企画を開催した。

## II. 拠点構成員の一覧 (公開項目) ※ページ数の制限は無し

本欄には、2022年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	大窪 健之	理工学部環境都市工学科	教授
運営委員	青柳 憲昌	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	大場 修	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(教授)
	小川 圭一	理工学部環境都市工学科	教授
	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部政策科学科	教授
	河角 直美	文学部人文学科(地域研究学域)	准教授
	金 度源	理工学部環境都市工学科	准教授
	豊田 祐輔	政策科学部政策科学科	准教授
	花岡 和聖	文学部人文学科(地域研究学域)	准教授
	深川 良一	理工学部	特命教授
	藤本 将光	理工学部環境都市工学科	准教授
	村中 亮夫	文学部人文学科(地域研究学域)	准教授
	矢野 桂司	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	吉富 信太	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	SHAKYA, Lata	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(准教授)
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	阿部 俊彦	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	泉 知論	理工学部電子情報工学科	教授
	宇佐美 智之	文学部人文学科(地域研究学域)	特任助教
	岡井 有佳	理工学部環境都市工学科	教授
	川崎 佑磨	理工学部環境都市工学科	准教授
	神田 孝治	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	金 侖美	総合科学技術研究機構	助教
	小林 泰三	理工学部環境都市工学科	教授
	桜井 政成	政策科学部政策科学科	教授
	佐藤 弘隆	文学部人文学科(地域研究学域)	特任助教
	里深 好文	理工学部環境都市工学科	教授
	高橋 学	文学部人文学科(地域研究学域)	特任教授
	寺床 幸雄	文学部人文学科(地域研究学域)	准教授
	仲谷 善雄	情報理工学部情報理工学科	教授
	夏目 宗幸	文学部人文学科(地域研究学域)	特任助教
	狭間 恵三子	衣笠総合研究機構	招聘研究教員(教授)
	平尾 和洋	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	福水 洋平	理工学部電気電子工学科	准教授
福山 智子	理工学部建築都市デザイン学科	准教授	

	藤井 健史	理工学部建築都市デザイン学科	助教
	本間 睦朗	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	宗本 晋作	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	持田 泰秀	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	山崎 有恒	文学部人文学科（日本史研究学域）	教授
	山田 悟史	理工学部建築都市デザイン学科	講師
	山本 理佳	文学部人文学科（地域研究学域）	准教授
① 専門研究員 研究員 初任研究員	大橋 弘明	衣笠総合研究機構	専門研究員
② リサーチアシスタント			
③ 大学院生	常木 佳奈	文学研究科	博士課程後期課程
	前田 一馬	文学研究科	博士課程後期課程
	印牧 真明	文学研究科	博士課程後期課程
	OGUNBIYI Joshua Olabami ji	理工学研究科	博士課程後期課程
	大西 功	理工学研究科	博士課程後期課程
	清水 泰有	政策科学研究科	博士課程後期課程
	留野 僚也	政策科学研究科	博士課程後期課程
	QIN Xin	理工学研究科	博士課程後期課程
	武内 樹治	文学研究科	博士課程前期課程
	八巻 栞	文学研究科	博士課程前期課程
	HU Shaobo	理工学研究科	博士課程前期課程
	LI Jiabing (李 佳冰)	理工学研究科	博士課程前期課程
	MA Jiachen	理工学研究科	博士課程前期課程
	足立 輝人	理工学研究科	博士課程前期課程
	石原 稜大	理工学研究科	博士課程前期課程
	稲垣 信吾	理工学研究科	博士課程前期課程
	岡本 和将	理工学研究科	博士課程前期課程
	川島 直人	理工学研究科	博士課程前期課程
	小島 尚之	理工学研究科	博士課程前期課程
	谷口 祐啓	理工学研究科	博士課程前期課程
	長澤 優輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	福井 誠	理工学研究科	博士課程前期課程
	藤田 貴士	理工学研究科	博士課程前期課程
	村上 雅也	理工学研究科	博士課程前期課程
	山崎 良祐	理工学研究科	博士課程前期課程
	山田 由生	理工学研究科	博士課程前期課程
	山田 義人	理工学研究科	博士課程前期課程
	山本 琴乃	理工学研究科	博士課程前期課程
	米田 悠介	理工学研究科	博士課程前期課程

学内の若手研究者

安田 有輝	理工学研究科	博士課程前期課程
伊藤 直也	理工学研究科	博士課程前期課程
井上 雄登	理工学研究科	博士課程前期課程
岡田 潤	理工学研究科	博士課程前期課程
萩 智隆	理工学研究科	博士課程前期課程
吉川 奎	理工学研究科	博士課程前期課程
宮原 悟	理工学研究科	博士課程前期課程
宮崎 春歌	理工学研究科	博士課程前期課程
宮本 勝斗	理工学研究科	博士課程前期課程
原田 大輔	理工学研究科	博士課程前期課程
古川 祥也	理工学研究科	博士課程前期課程
三谷 純平	理工学研究科	博士課程前期課程
三輪 晋也	理工学研究科	博士課程前期課程
山根 雅也	理工学研究科	博士課程前期課程
山田 陽太	理工学研究科	博士課程前期課程
山脇 慎平	理工学研究科	博士課程前期課程
酒井 智弘	理工学研究科	博士課程前期課程
深井 麻理奈	理工学研究科	博士課程前期課程
神代 康輔	理工学研究科	博士課程前期課程
水野 裕斗	理工学研究科	博士課程前期課程
盛岡 幸生	理工学研究科	博士課程前期課程
西川 慶	理工学研究科	博士課程前期課程
石田 祐太	理工学研究科	博士課程前期課程
川上 樹	理工学研究科	博士課程前期課程
川田 泰歩	理工学研究科	博士課程前期課程
大谷 育夢	理工学研究科	博士課程前期課程
大坪 篤貴	理工学研究科	博士課程前期課程
谷口 有里香	理工学研究科	博士課程前期課程
竹内 基起	理工学研究科	博士課程前期課程
中西 裕也	理工学研究科	博士課程前期課程
中村 魁	理工学研究科	博士課程前期課程
中内 聡哉	理工学研究科	博士課程前期課程
辻 寛太	理工学研究科	博士課程前期課程
田崎 幹大	理工学研究科	博士課程前期課程
田邊 勇樹	理工学研究科	博士課程前期課程
南本 一樹	理工学研究科	博士課程前期課程
幡野 遙	理工学研究科	博士課程前期課程
尾崎 彬也	理工学研究科	博士課程前期課程
北村 一貴	理工学研究科	博士課程前期課程
堀畑 卓矢	理工学研究科	博士課程前期課程
野端 智志	理工学研究科	博士課程前期課程
友田 樹哉	理工学研究科	博士課程前期課程

林 敏乃香	理工学研究科	博士課程前期課程
鈴木 将太	理工学研究科	博士課程前期課程
櫻井 源	理工学研究科	博士課程前期課程
澤森 奨太	理工学研究科	博士課程前期課程
HUANG Yuezhou (黄 月州)	理工学研究科	博士課程前期課程
WANG Baichuan (王 百川)	理工学研究科	博士課程前期課程
ZHANG Zhongming	理工学研究科	博士課程前期課程
青山 剛士	理工学研究科	博士課程前期課程
浅原 陸人	理工学研究科	博士課程前期課程
石井 美優	理工学研究科	博士課程前期課程
上田 圭太郎	理工学研究科	博士課程前期課程
遠藤 祐太郎	理工学研究科	博士課程前期課程
太田 大貴	理工学研究科	博士課程前期課程
櫻田 留奈	理工学研究科	博士課程前期課程
千葉 陵平	理工学研究科	博士課程前期課程
中川 遼	理工学研究科	博士課程前期課程
中田 洋誠	理工学研究科	博士課程前期課程
中山 翔貴	理工学研究科	博士課程前期課程
西岡 里美	理工学研究科	博士課程前期課程
西村 翔太	理工学研究科	博士課程前期課程
長谷川 諒	理工学研究科	博士課程前期課程
林 嵩之	理工学研究科	博士課程前期課程
藤木 大真	理工学研究科	博士課程前期課程
松本 昂大	理工学研究科	博士課程前期課程
村岡 勇氣	理工学研究科	博士課程前期課程
阿部 友貴	理工学研究科	博士課程前期課程
遠藤 慧人	理工学研究科	博士課程前期課程
窪津 俊亮	理工学研究科	博士課程前期課程
原田 真衣	理工学研究科	博士課程前期課程
広瀬 憲吾	理工学研究科	博士課程前期課程
高尾 詢一郎	理工学研究科	博士課程前期課程
坂本 賢矢	理工学研究科	博士課程前期課程
阪口 元貴	理工学研究科	博士課程前期課程
三反畑 慶	理工学研究科	博士課程前期課程
山元 遼太	理工学研究科	博士課程前期課程
寺本 昌太	理工学研究科	博士課程前期課程
小池田 樹	理工学研究科	博士課程前期課程
松野 泰己	理工学研究科	博士課程前期課程
星山 和輝	理工学研究科	博士課程前期課程
竹中 健太	理工学研究科	博士課程前期課程
中村 宣彬	理工学研究科	博士課程前期課程

	中本 蒼馬	理工学研究科	博士課程前期課程
	飯島 康平	理工学研究科	博士課程前期課程
	富村 郁斗	理工学研究科	博士課程前期課程
	芳田 知紀	理工学研究科	博士課程前期課程
	傍島 靖葉	理工学研究科	博士課程前期課程
	北地 水砂騎	理工学研究科	博士課程前期課程
	矢野 隆宏	理工学研究科	博士課程前期課程
	國弘 朝葉	理工学研究科	博士課程前期課程
	浅海 悠人	理工学研究科	博士課程前期課程
	濱田 千織	理工学研究科	博士課程前期課程
	YANG Manzun	政策科学研究科	博士課程前期課程
	ZHANG Xuan	政策科学研究科	博士課程前期課程
	PHUAKNIAN Kanjana	政策科学研究科	博士課程前期課程
	加減 航	政策科学研究科	博士課程前期課程
	鱒部 貴之	政策科学研究科	博士課程前期課程
④ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD)			
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研 究生、研修生等)	白石 陽子	衣笠総合研究機構	補助研究員
	林 祐妃	衣笠総合研究機構	補助研究員
	山本 峻平	文学研究科	研修生
客員協力研究員	土岐 憲三	衣笠総合研究機構	特別研究フェロ ー
	武田 史朗	千葉大学 園芸学研究院	教授
	星野 安治	国立文化財機構 奈良文化財 研究所 年代学研究室	室長
	樋本 圭佑	国土交通省国土技術政策総合 研究所	主任研究官
	益田 兼房	立命館大学歴史都市防災研究 所	客員研究員
	佐藤 英佑	㈱佐藤建築設計	代表取締役
	高橋 暁	ユネスコ・アラブ諸国科学技 術地域事業所	文化担当官
	高松 正彦	一般財団法人日本緑化センタ ー	緑化事業部長
	田中 哮義	京都大学 名誉教授	
	棚橋 秀光	TASS デザイン研究室 (TASS Design Institute)	
	福山 大典	㈱アイエス工業所	開発部長
	古川 愛子	京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻	准教授
	石田 優子	立命館大学歴史都市防災研究 所	客員研究員
	森 清顕	清水寺	執事補
	森下 雄治	森下漆器㈱	代表取締役
	大岡 優	都城工業高等専門学校 建築 学科	准教授
林 倫子	関西大学 環境都市工学部 都 市システム工学科	准教授	

	JIGYASU Rohit	Project Manager	ICCROM
	山崎 文雄	千葉大学大学院 工学研究科	名誉教授
	DENPAIBOON Chaweewan	チュラロンコン大学 建築学部	准教授
	石橋 健一	名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部 教授	
	梶 秀樹	一般社団法人 地域防災支援協会／筑波大学	理事／名誉教授
	神田 隆男	丸軒企業有限公司	京都支店長
	大槻 知史	高知大学 総合科学系地域協働教育学部門	准教授
	城月 雅大	名古屋外国語大学 現代国際学部	准教授
	和泉 潤	元 名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部	特任教授
	RIZZI Paola	ラクイラ大学 建築環境工学部 都市工学科	教授
	宮崎 洋司	(株)プラス社会計画センター	所長
	丸岡 稔典	名古屋産業大学	特任講師
	村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所 地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野	教授
	崔 明姫	名古屋工業大学 おもひ領域	非常勤研究員
	石原 凌河	龍谷大学 政策学部	准教授
	冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫	理事長
	壽崎 かすみ	龍谷大学 国際学部	准教授
	小山田 晋	北海道大学 農学部	研究員
	酒井 宏平	城西大学	助教
	板谷 直子	京都市都市計画審議会・京都市美観風致審議会・京都市建築審査会・京都市元離宮二条城保存整備委員会／国立大学法人奈良女子大学	各委員／非常勤講師
	植村 善博	佛教大学	名誉教授
	大邑 潤三	東京大学地震研究所	助教
	岡田 篤正	京都大学	名誉教授
	北原 糸子	立命館大学歴史都市防災研究所	客員研究員
	谷端 郷	北海学園大学 人文学部 日本文化学科	講師
	川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
	神戸 啓	うさぎのアトリエぴよんぴよこぴよん京／先斗町まちづくり協議会	代表／副会長兼事務局長
	米島 万有子	熊本大学大学院 人文社会科学部 科学研究部	准教授
	木村 智	日本文理大学 工学部 建築学科	助教
	島本 多敬	琵琶湖博物館	学芸員
	森田 耕平	(公財)利用運送振興会	職員

	佐藤 貴史	北海学園大学 人文学部	教授
	手塚 薫	北海学園大学 人文学部	教授
	桐村 喬	皇學館大学 文学部	准教授
	中谷 友樹	東北大学大学院 環境科学研究科	教授
	青木 和人	あおき地理情報システム研究所	代表
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅	学芸員
	高橋 彰	大阪大学サイバーメディアセンター	特任助教 (常勤)
	安本 晋也	中部大学 中部高等学術研究所	講師
	矢尾田 清幸	沖縄県土地改良事業団体連合会	総務企画課長
	山本 大策	コルゲート大学 地理学科 アジア研究プログラム	准教授
	山本 由美子	コルゲート大学 地理学科 地理学科所属	研究員
	郭 凱鴻	大阪商業大学 JGSS 研究センター	ポスドク研究員
	鈴木 祥之	京都大学	名誉教授
	Wesley CHEEK	衣笠総合研究機構	プロジェクト研究員
その他の学外者	Joseph Allan KING	ICCROM	Director of Partnership and Communication
	Aparna Tandon	ICCROM	Project Manager of Collection Unit
	Kaori KAWAKAMI	Emergency preparedness and response Unit (CLT/EPR), Culture Sector, UNESCO	Chief
	Sophie ABRAHAM	Emergency preparedness and response Unit (CLT/EPR), Culture Sector, UNESCO	Associate Coordination Officer
	Lee BOSHER	Loughborough University	Professor
	Ksenia CHMUTINA	Loughborough University	Associate Professor
研究所・センター構成員 計 240 名 (うち学内の若手研究者 計 128 名)			

### Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2022年3月31日時点) また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	阿部俊彦	新建築 2021年3月号, 気仙沼内湾ムカエル・ウマレル<PIER7>	共著	2021年3月	新建築社新建築 2021年3月号	LLC SMDW、ほか	140-149
2	阿部俊彦	造景 2021	分担執筆	2021年8月	建築資料研究社	八甫谷邦明ほか	
3	阿部俊彦	建築系のためのまちづくり入門	共著	2021年9月	学芸出版社	連健夫、ほか	



4	宇佐美智之	季刊考古学：高地性集落論の新しい動き	単著（分担執筆）	2021年10月	雄山閣，季刊考古学(157)	森岡秀人編	26-29
5	大場修	占領下日本の地方都市—接收された住宅・建築と都市空間—	共著（編著者）	2021年5月		思文閣出版	大場 修
6	鐘ヶ江秀彦	第9章災害・安全とサステナビリティ、「SDGs 時代におけるサステナビリティ学」	単著	2022年3月	法律文化社	周 璋生	第9章／15章（191頁）
7	神田孝治	現代観光地理学への誘い—観光地を読み解く視座と実践	共著	2021年12月	ナカニシヤ出版	神田孝治・森本泉・山本理佳編	総頁 232
8	金度源	Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, Ritsumeikan University, Japan	共著	2021年2月	歴史都市防災研究所	Rohit Jigyasu・サキヤラタ・金度源	
9	小林泰三	2. 福井の地盤—福井平野—	共著	2021年8月	福井地質調査業協会	福井地盤図作成委員会	
10	花岡和聖	Long-Term Mass Displacements—The Main Demographic Consequence of Nuclear Disasters?	共著	2021年	SpringerThe Demography of Disasters: Impacts for Population and Place	Karacsonyi, D., Hanaoka, K. and Skryzhevskya, Y.	15-48
11	藤井健史	空間五感	分担執筆	2021年3月	井上書院		
12	宗本晋作	SMA S Steel Frame Structure	単著	2021年8月	アキグラム（韓国）ISBN 9791195788026	宗本晋作	
13	宗本晋作	SMA W Wood Structure	単著	2021年8月	アキグラム（韓国）ISBN 9791195788040	宗本晋作	
14	宗本晋作	SMA RC Reinforced Concrete	単著	2021年8月	アキグラム（韓国）ISBN 9791195788033	宗本晋作	
15	矢野桂司	GIS：地理情報システム（やさしく知りたい先端科学シリーズ8）	単著	2021年8月			
16	矢野桂司	経済・交通現象を対象とする主題図	単著	2021年11月	日本地図学会監修『地図の事典』	矢野桂司	118-119
17	山本理佳	4章 ヘリテージーイデオロギーとオーセンティシテイをめぐる現代的諸相	単著（編著）	2021年12月	ナカニシヤ出版	神田孝治・森本泉・山本理佳（編著）『現代観光地理学への誘い—観光地を読み解く視座と実践—』	40-47

## 2. 論文

No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	青柳憲昌	「戦後住宅生産史 概観—住宅生産の近代化と「建築家」—」	単著	2021年6月	日本建築学会『建築雑誌』2021年6月号、pp.20-21	青柳憲昌	20-21	
2	青柳憲昌	「出石旧城下町の歴史的災害による罹災範囲の復元的考察」	共著	2021年7月	『歴史都市防災論文集』第15号（15）	吉川奎・青柳憲昌	121-128	
3	青柳憲昌	「出石旧城下町の土蔵群および出石酒造土蔵の建築的特徴」	共著	2021年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2021年9月	林敏乃香・青柳憲昌	885-886	
4	青柳憲昌	「近世以降の出石旧城下町の都市的変遷」	共著	2021年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2021年	吉川奎・青柳憲昌	469-470	

					9月			
5	青柳憲昌	「京都の町家における「床の間」の特徴」	共著	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集』2021年9月	村岡勇気・青柳憲昌	887-888	
6	青柳憲昌	「世田谷区高見澤邸に用いられた部品・構法の変容の過程 戦後木造庶民住宅の増改築履歴調査その3」	共著	2021年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2021年9月	伊藤公人・青柳憲昌・松本直之・門脇耕三	353-356	
7	阿部俊彦	小規模まちづくり事業による復興	単著	2021年2月	日本住宅会議住宅会議(111)	阿部俊彦	32-34	
8	阿部俊彦	津波被災地の復興まちづくりと今後～現地レポート～	共著	2021年3月	新建築家技術者集団建築とまちづくり(505)	阿部俊彦、ほか	10-32	
9	阿部俊彦	住民主体の復興まちづくりから得た知見	単著	2021年3月	自治体学会自治体学34(2)	阿部俊彦	18-19	
10	阿部俊彦	7469 南草津駅前地区における公民連携空間に関する研究 -社会実験実施に向けた現況の利用と課題について-	単著	2021年9月	日本建築学会日本建築学会大会(東海)学術講演梗概集(都市計画)	阿部俊彦		
11	阿部俊彦	まちづくりにおける地域資源の価値転換を促す「シナリオ・プランニング」の試行	単著	2021年9月	日本建築学会日本建築学会大会(東海)都市計画委員会 研究協議会資料	阿部俊彦		
12	阿部俊彦	津波被災市街地における住まいとまちなみの復興から得られた知見	単著	2021年11月	一社 住宅生産振興財団家とまちなみ(84)	阿部俊彦		
13	宇佐美智之	Synthesis of Geospatial Database and Interdisciplinary to Achieve NSDS for Downtown Alexandria, Egypt Vision 2030	共著	2021年12月	Proceedings of the ICA(4)	Mohamed Soliman, Tomoyuki Usami, Satoshi Imamura, Keiji Yano, Hrishikesh Ballal, Abbas Mohamed Abbas, Tharwat, Abdel Fattah, Sameh El-Kafrawy, Hossam El-Sayed, Amr El-Shafie		
14	宇佐美智之	弥生時代高地性集落における可視領域の検討:近畿地方を例として	単著	2021年11月	立命館地理学(33)	宇佐美 智之	55-64	
15	宇佐美智之	GIS 可視領域分析を用いた弥生時代高地性集落の立地と焼土坑の評価	単著	2021年9月	日本情報考古学会講演論文集(24)	宇佐美 智之	45-50	
16	宇佐美智之	Sustainable Geodesign of the Urban Cultural Heritage of Alexandria, Egypt Vision 2030: Homogeneity of Authenticity and Modernization	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集(15)	SOLIMAN Mohamed, USAMI Tomoyuki, IMAMURA Satoshi, YANO Keiji, BALLAL Hrishikesh	299-306	
17	宇佐美智之	中央アジア・ザラフシャン川流域における1960年代以降の遺跡環境の変化:CORONA 衛星写真とGoogle Earthの判読から	単著	2021年7月	歴史都市防災論文集(15)	宇佐美 智之	217-224	
18	宇佐美智之	高地性集落の眺望:GIS眺望分析による弥生時代高地性集落の立地研究	単著	2021年3月	立命館文学(672)	宇佐美 智之	181-197	
19	宇佐美智之	Construction of GIS Database of Alexandria Based on the Old Maps	共著	2021年3月	アトリサーチ(21)	Mohamed Soliman, Tomoyuki	33-44	

						Usami, Satoshi Imamura, Keiji Yano		
20	大窪健之	街路をまたぐ燃え広がり に対する平入町家の延焼 抑止性能評価と要因分析	共著	2021年7月	立命館大学・歴史都市 防災研究所歴史都市防 災論文集(15)	遠藤裕太郎・ 大窪健之・金 度源	89-96	
21	大窪健之	史跡等に所在する復元建 造物における火災対策の 現状と課題～未指定文化 財を火災から守り伝える ために～	共著	2021年7月	立命館大学・歴史都市 防災研究所歴史都市防 災論文集(15)	長谷川諒・大 窪健之・金度源	105-112	
22	大窪健之	感染症拡大状況下におけ るオンライン防災訓練の 有効性に関する評価～豊 岡市出石重伝建地区を対 象として～	共著	2021年 7月	立命館大学・歴史都市 防災研究所歴史都市防 災論文集(15)	千葉陵平・大 窪健之・金度源	145-152	
23	大窪健之	歴史都市金沢市での立体 駐車場を活用した洪水時 避難の有効性評価～感染 症対策を考慮した車両に よる垂直避難の可能性～	共著	2021年7月	立命館大学・歴史都市 防災研究所歴史都市防 災論文集(15)	大窪健之・堀 田育美・金度源	177-184	
24	大窪健之	震災時の延焼火災に備え る水源確保と消火可能範 囲に関する研究—伝統的 木密地域を有する京都市 上京区を対象として—	共著	2021年7月	立命館大学・歴史都市 防災研究所歴史都市防 災論文集(15)	松本昂大・大 窪健之・金度源	113-120	
25	大窪健之	京都駅周辺地域を対象と した社寺の防災拠点活用 に関する評価～広域災害 時に不足する帰宅困難者 への支援の補完を想定し て～	共著	2021年7月	立命館大学・歴史都市 防災研究所歴史都市防 災論文集(15)	金度源・清水 弘樹・大窪健之	129-136	
26	大窪健之	2015年ゴルカ地震後の 公的な災害対応体制と自 主的避難所の運営—ネパ ールの歴史都市パタンに おける地域資源を活かし た災害対応マネジメント に関する研究—	共著	2021年7月	立命館大学・歴史都市 防災研究所歴史都市防 災論文集(15)	サキヤ ラタ ・大窪健之 ・小川和馬・ 金度源	233-240	
27	大窪健之	Capacity estimation of historical temples and shrines around Kiyomizu World Cultural Heritage site for supporting evacuation lives of visitors during disaster	共著	2021年7月	Le Vie dei Mercanti		25-34	
28	大窪健之	大阪府交野市倉治におけ る古式水道「取り水」の歴 史と利用実態	共著	2021年10月	土木学会土木学会論文 集(D1)	林 倫子・森 彩乃・大窪 健之・金度源	99-109	
29	大場修	宇治茶生産集落和束町湯 船地区における集落構成 および主屋架構の諸特性 分析	共著	2021年6月	『日本建築学会研究報 告集』第61号・計画系	三輪晋也・平尾和洋・ 大場修	177~180	
30	大場修	宇治茶生産集落和束町湯 船地区における集落構成 および主屋架構の諸特性 分析	共著	2021年9月	『日本建築学会大会学 術講演梗概集』	上田圭太郎・三輪晋 也・平尾和洋・大場 修	35-36	
31	大場修	京都の近代和風住宅に関 する研究—京都御所清和 院御門正面の角地に建つ 建築を通して—	共著	2021年9月	『日本建築学会大会学 術講演梗概集』	奥村収一・郡裕美・大 場修	779-780	

32	大場修	占領下日本の都市・住宅に関する研究 その17—静岡県におけるホテル接収と休暇将兵の実態—	共著	2021年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	長田城治・大場修・角哲・砂本文彦・玉田浩之・村上しほり	699-670	
33	大場修	京都花見小路界隈における茶屋街の変遷過程（用途・景観）	共著	2021年6月	『日本建築学会北海道支部研究報告』	芝崎佑奈・大場修	424-427	
34	大場修	東日本における町家建築の特徴—炊事機能・接客機能・吹抜空間—	共著	2021年6月	『日本建築学会北海道支部研究報告』	今井達生・大場修	440-443	
35	岡井有佳	水害リスク低減に向けた土地利用規制・誘導手法に関する研究～都道府県の総合治水条例に着目して～	共著	2021年9月	一般社団法人日本建築学会 2021年度日本建築学会大会学術講演梗概集	大橋克矢・馬場美智子・岡井有佳	673-676	
36	岡井有佳	水害対策としての開発規制に関する都道府県条例等に関する研究	共著	2021年10月	日本都市計画学会日本都市計画学会都市計画論文集 56(3)	馬場美智子・岡井有佳	1481-1487	
37	小川圭一	歴史都市における道路整備の時期と道路構造による交通事故多発状況の比較—京都府と滋賀県を対象として—	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集 Vol.15	溝口万里江, 小川圭一	193-200	
38	小川圭一	消費者余剰の推定による観光資源としての京都市内の文化遺産の価値の考察	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集 Vol.15	森祐輔, 小川圭一	209-216	
39	鐘ヶ江秀彦	大学生の地域防災における主体性の形成を目的とした避難協力ゲーミングに関する研究: 個人役割の認識に着目して	共著	2021年11月	日本シミュレーション & ゲーミング学会、シミュレーション・ゲーミング、Vol30、No2	編集人 日本シミュレーション & ゲーミング学会 学会誌編集委員会 大沼進・発行人 学会長 鐘ヶ江秀彦	pp 73-83	
40	鐘ヶ江秀彦	Evacuation Simulation Considering Tourists' Attempts to Return Home: A Case of the Kiyomizu-dera Temple Area, Japan	共著	2021年9月/1	Springer、"Historic Cities in the Face of Disasters Reconstruction, Recovery and Resilience of Societies"、The Urban Book Series	Fatemeh Farnaz Arefian Judith Ryser Andrew Hopkins Jamie Mackee	pp 559-575	
41	鐘ヶ江秀彦	Framework for Utilizing Disaster Learning Tools Classified by Real and Virtual Aspects of Community Space and Social Networks: Application to Community-based Disaster Risk Reduction and School Disaster Education on Earthquakes in Japan for During- and Post-COVID-19 Periods	共著	2021年12月/1	Elsevier, Progress in Disaster Science	Editor-in-Chief Dr. Rajib Shaw, Ph. D.	open access total 8 pages	
42	鐘ヶ江秀彦	Regional Competitiveness of a Post - Mining City in Tourism: Ombilin Coal Mining Heritage of Sawahlunto, Indonesia	共著	2021年12月/1	Wiley、Regional Science Policy & Practice, Volume 13, Issue 6 "Special Issue:New Landscape of Data and Sustainable Development in Asia"、Pages: pp	Regional Science Association International	pp 1888 - 1910	

					1723-1976		
43	川崎佑磨	AE source location of debonding steel-rod inserted and adhered inside rubber	共著	2021年 4月	Journal of Construction and Building Materials 279	Yuma Kawasaki、Kensuke Ueda、Kazuyuki Izuno	1-10
44	川崎佑磨	アロマ水を分割練混ぜしたモルタル板の官能評価および印象評価に関する研究	共著	2021年 7月	コンクリート工学年次論文集 43(1)	川崎佑磨、宇野彩葉、新大軌、兵頭正浩	1031-1036
45	川崎佑磨	振動締め時間がコンクリートの圧縮破壊過程および中性化に与える影響	共著	2021年 7月	コンクリート工学年次論文集 43(1)	坂野大世、山田悠二、川崎佑磨	887-892
46	川崎佑磨	AE法とEN法を併用した補修後のRC部材の鉄筋腐食評価に関する研究	共著	2021年 7月	コンクリート工学年次論文集 43(1)	福井慎也、川崎佑磨、福山智子、金侖美	1223-1228
47	川崎佑磨	STUDY ON RELATIONSHIP BETWEEN ELECTROCHEMICAL NOISE AND STRAINS ON CONCRETE SURFACE DURING REBAR CORROSION IN REINFORCED	共著	2021年 7月	コンクリート工学年次論文集 43(1)	Ejazulhaq RAHIMI、Yuma KAWASAKI、Tomoko FUKUYAMA、Yurmi KIM	1301-1306
48	河角直美	近代京都における主要商店街の店舗復原—《祇園町》を事例とした方法の検討—	共著	2012年1月	歴史地理学会、歴史地理学 63-4	加藤政洋・河角直美	pp. 1-17
49	河角直美	近代京都における近郊遊園地の開発と景観の変遷—八瀬を中心に—	単著	2021年3月	立命館大学人文学会、立命館文学 672号	河角直美	pp. 248-260
50	神田孝治	COVID-19時代のツーリズム・モビリティーズと場所—2020年における与論島の状況に注目した—考察	単著	2021年 1月	立命館大学人文科学研究 所紀要 (125)	神田孝治	49-76
51	神田孝治	『鬼滅の刃』が生じさせる新たな聖地—「境界の融解」と「移動」に注目した考察—	単著	2021年 3月	立命館文学 (672)	神田孝治	88-109
52	北本英里子	没入型VR空間における空間知覚の研究—パーソナルスペースを対象とした囲われ感についての距離の知覚と心理評価	共著	2021年 6月	27(66)	北本英里子、山田悟史、神長伸幸	1104-1109
53	金度源	都駅周辺地域を対象とした社寺の防災拠点活用に関する評価：広域災害時に不足する帰宅困難者への支援の補完を想定して	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集、15	金度源、清水弘樹、大窪健之	pp. 129-136
54	金度源	Framework for Utilizing Disaster Learning Tools Classified by Real and Virtual Aspects of Community Space and Social Networks: Application to Community-based Disaster Risk Reduction and School Disaster Education on Earthquakes in Japan for During- and Post-	共著	2021年12月	“Progress in Disaster Science” (Elsevier), Vol.12	Toyoda, Y., Muranaka, A., Kim D. and Kanegae H	

		COVID-19 Periods'						
55	金度源	街路をまたぐ燃え広がりに対する平入町家の延焼抑止性能評価と要因分析	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, 15	遠藤 裕大郎, 大窪 健之, 金 度源	pp. 89-96	
56	金度源	史跡等に所在する復元建造物における火災対策の現状と課題 : 未指定文化財を火災から守り伝えるために	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, 15	長谷川 諒, 大窪 健之, 金 度源	pp. 105-112	
57	金度源	震災時の延焼火災に備える水源確保と消火可能範囲に関する研究 : 伝統的木密地域を有する京都市上京区を対象として	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, 15	松本 昂大, 大窪 健之, 金 度源	pp. 113-120	
58	金度源	感染症拡大状況下におけるオンライン防災訓練の有効性に関する評価 : 豊岡市出石重建地区を対象として	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, 15	千葉 陵平, 大窪 健之, 金 度源	pp. 145-152	
59	金度源	歴史都市金沢市での立体駐車場を活用した洪水時避難の有効性評価 : 感染症対策を考慮した車両による垂直避難の可能性	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, 15	大窪 健之, 堀田 育美, 金 度源	pp. 177-184	
60	金度源	2015年ゴルカ地震後の公的な災害対応体制と自主的避難所の運営ネパールの歴史都市バタンにおける地域資源を活かした災害対応マネジメントに関する研究	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, 15	サキヤ ラタ, 大窪 健之, 小川 和馬, 金 度源	pp. 233-240	
61	金度源	Capacity estimation of historical temples and shrines around Kiyomizu World Cultural Heritage site for supporting evacuation lives of visitors during disaster	共著	2021年8月	special issue of the Quaderni dedicated to the XIX International Forum WORLD HERITAGE and DESIGN FOR HEALTH	Takeyuki OKUBO, Yurika TANIGUCHI, Dowon KIM		
62	金侖美	STUDY ON RELATIONSHIP BETWEEN ELECTROCHEMICAL NOISE AND STRAINS ON CONCRETE SURFACE DURING REBAR CORROSION IN REINFORCED CONCRETE	共著	2021年7月	コンクリート工学年次論文集, Vol. 43, No. 1	Ejazulhaq RAHIMI, Yuma KAWASAKI, Tomoko FUKUYAMA, Yunmi KIM	pp. 1301-1306	
63	金侖美	AE法とEN法を併用した補修後のRC部材の鉄筋腐食評価に関する研究AE法とEN法を併用した補修後のRC部材の鉄筋腐食評価に関する研究	共著	2021年7月	コンクリート工学年次論文集, Vol. 43, No. 1	福井慎也, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美	pp. 1223-1228	
64	金侖美	曲げ変形を受ける断面修復コンクリートの補修範囲が早期劣化に及ぼす影響	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	神代康輔, 金侖美, 吉富信太, 福山智子	pp. 35-38	
65	金侖美	含水状態や荷重条件がモルタルの圧電効果に及ぼす影響	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	出口侑弥, 金侖美, 福山智子	pp. 51-56	
66	金侖美	炭素繊維を混和したセメントペーストの圧電特性に関する基礎的検討	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	Ma Jiachen, 福山智子, 金侖美	pp. 45-50	

67	金侖美	カーボンナノチューブのセメントペースト中への分散状況の定量評価に関する検討	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	福山智子, 金侖美, 山田悠二, 田中章夫	pp. 63-68	
68	金侖美	乾燥収縮率および静弾性係数の違いが断面修復コンクリートにおけるひずみおよび応力発生に及ぼす影響	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	平田佳奈実, 金侖美, 福山智子	pp. 21-26	
69	金侖美	歴史的建造物の含水分布検知に向けたコンクリート用電気インピーダンストモグラフィ実現に関する基礎的研究	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	金侖美, 福山智子	pp. 77-82	
70	金侖美	ひずみゲージによるコンクリートの熱変形の測定	共著	2021年6月	日本建築学会技術報告集, Vol. 27, No. 66	金侖美, 福山智子, 神代康輔, 吉富信太	pp. 622-625	
71	金侖美	電気化学ノイズ法によるコンクリート中の鋼材腐食評価について	共著	2021年5月	コンクリート工学, Vol. 59, No. 5	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨	pp. 422-427	
72	金侖美	カーボンナノチューブを混和したセメント系材料の建設材料としての適用可能性	共著	2021年9月	セメント・コンクリート, No. 895	福山智子, 金侖美, 山田悠二, 田中章夫	pp. 2-7	
73	小林泰三	3次元データを活用した出石城石垣の安定性評価	共著	2021年11月	測量, Vol. 71 No. 11, 日本測量協会	小林泰三, 山元遼太, 三段畑慶, 安井伸頭, 家村享明, 西村正三	26-29	
74	小林泰三	3次元測量データを活用した地層構造の逆解析手法の構築に向けた基礎的研究	共著	2021年9月	土木情報学シンポジウム講演集, 土木学会土木情報学委員会	宮原 悟, 財津駿平, 松浦 敦, 小林泰三	333-336	
75	小林泰三	降雨による斜面危険度監視システムの構築に向けた基礎的研究	共著	2021年11月	Kansai Geo-Symposium 2021 論文集、地盤工学会関西支部	窪津俊亮, 安田有輝, 小林泰三		
76	小林泰三	城郭石垣の地震時安定性評価手法の構築に向けた基礎的検討	共著	2021年11月	Kansai Geo-Symposium 2021 論文集、地盤工学会関西支部	山元遼太, 三反畑慶, 安井伸頭, 西村正三, 小林泰三		
77	佐藤弘隆	「祇園祭デジタル・ミュージアム 2020」の構築・公開について	共著	2021年3月	E-journal GEO 16(1)	◎佐藤弘隆・武内樹治・今村聡・矢野桂司	87-101	
78	佐藤弘隆	新型コロナウイルス感染症の流行下におけるフィールドワーク系授業の実践	単著	2021年3月	村上忠喜先生還暦記念日本民俗学講習会 世話人記念誌：村上忠喜先生 還暦記念 日本民俗学講習会			
79	佐藤弘隆	近代京都における町文書を用いた町内景観の復原—京都市東山区「弓矢町文書」の性格と復原方法の検討—	単著	2021年3月	立命館大学アート・リサーチセンターアート・リサーチ (21)	佐藤弘隆	19-30	
80	佐藤弘隆	デジタル・アーカイブの新たな展開	共著	2021年5月	第一法規株式会社月刊文化財 (692)	矢野桂司・佐藤弘隆・杉本繁治	24-26	
81	里深好文	数値標高モデルを用いた小規模溪流の危険度評価に関する研究	共著	2021年1月	土木学会論文集B1 (水工学) 77(1)	森泰樹・杉山友康・里深好文・棚野博	24-38	
82	里深好文	土砂移動時の地盤振動の再現—模型実験からの考察—	共著	2021年1月	砂防学会誌 73(5)	筒井和男・坂口隆紀・海原莊一・谷田佑太・木下篤彦・柴田俊・金澤瑛・中谷洋明・里深好文・藤本将光	44-48	
83	里深好文	Numerical simulation method for predicting a flood hydrograph due to progressive failure of	共著	2021年7月	Springer Verlag Landslides 18(11)	S. Takayama, S. Miyata, M. Fujimoto and Y.	3655-3670	

		a landslide dam				Satofuka		
84	里深好文	山地河川の合流点における河床変動に関する実験的研究	共著	2021年7月	砂防学会誌 74(2)	岡野和行・木下篤彦・山田拓・柴田俊・井之本信・上杉温子・吉安征香・山越隆雄・里深好文	31-38	
85	里深好文	山地河川の橋梁閉塞に流木の曲がり幹形状が及ぼす影響	共著	2021年10月	自然災害科学 40(特別)	中谷加奈・長谷川祐治・海堀正博・里深好文	81-92	
86	高橋学	「不適切な土地開発が拡大させた災害—2019年台風15号・19号災害を中心に—」	単著	2021年	環太平洋文明研究5、雄山閣		76-94	
87	豊田祐輔	壮年層に着目した地域防災活動への参加意図に関する研究(報告)	単著	2021年2月	自然災害科学(日本自然災害学会) 39(4)	豊田祐輔	391-406	
88	豊田祐輔	Analysis of the Impact of Technology on Culture in Indigenous Communities: Mentawai Islands, Indonesia	共著	2021年3月	Advances in Economics, Business and Management Research: Proceedings of the 2nd Southeast Asian Academic Forum on Sustainable Development (SEA-AFSID 2018) (Atlantis Press) 168	Zulfadrim, Toyoda Y and Kanegae H	269-276	
89	豊田祐輔	コミュニティ防災における防災学習手法の環境枠組み—ウィズ・コロナ期ならびにポスト・コロナ期を見据えて—(研究ノート)	単著	2021年3月	地域情報研究:立命館大学地域情報研究所紀要(立命館大学地域情報研究所) (10)	豊田祐輔	125-135	
90	豊田祐輔	Enhancing the Earthquake Coping Capacity of School Students using Gaming Simulations in Malaysia	共著	2021年6月	Japan Association of Gaming And Simulation Studies in Simulation and Gaming (Japan Association of Gaming And Simulation) 31(1)	Mohd HA and Toyoda Y	14-26	
91	豊田祐輔	観光スポットにおける訪日観光客に対する地震防災対策の枠組み—多数の訪日観光客が訪問する清水寺を事例とした基礎研究—	共著	2021年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集(立命館大学歴史都市防災研究所) 15	陸欽、豊田祐輔	201-208	
92	豊田祐輔	都市縮小時代での伝統的建造物群保存地区の社会的脆弱性と今後のコミュニティ防災に関する考察—豊岡市出石伝統的建造物群保存地区を事例として—	共著	2021年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集(立命館大学歴史都市防災研究所) 15	大橋弘明、留野僚也、豊田祐輔、酒井宏平、鐘ヶ江秀彦	137-144	
93	豊田祐輔	地域コミュニティに内在する防災と文化遺産保全の隔たり—都市縮小段階をむかえた京都市を事例に—	共著	2021年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集(立命館大学歴史都市防災研究所) 15	留野僚也、大橋弘明、豊田祐輔、酒井宏平、壽崎かすみ、鐘ヶ江秀彦	161-168	
94	豊田祐輔	Survey Paper: Achievements and	単著	2021年10月	Asia-Pacific Journal of Regional Science	Toyoda Y	705-756	



		Perspectives of Community Resilience Approaches to Societal Systems			(Springer) 5			
95	豊田祐輔	Framework for Utilizing Disaster Learning Tools Classified by Real and Virtual Aspects of Community Space and Social Networks: Application to Community-based Disaster Risk Reduction and School Disaster Education on Earthquakes in Japan for During- and Post-COVID-19 Periods	共著	2021年12月	Progress in Disaster Science (Elsevier) 12	Toyoda Y, Muranaka A, Kim D and Kanegae H	100210 (1-8)	
96	夏目宗之	代官野村氏の江戸近郊支配 - 武蔵国豊島郡角管村渡辺家文書を中心として -	共著	2021年3月	京都大学大学院人間・環境学研究科「地域と環境」研究会、地域と環境、16	夏目宗幸, 安岡達仁	61-72	
97	花岡和聖	川とともに暮らす亀岡2070	共著	2021年6月	ランドスケープデザイン (139)	流域空間デザイン研究会	70-77	
98	平尾和洋	別府市鉄輪の空き家活用による防災・減災の可能性に関する基礎的研究	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集 vol.15 (15)		83-88	
99	深川良一	アユタヤのレンガ造仏塔の保全に関する研究	共著	2021年2月	月刊考古学ジャーナル、2月号、No. 750	石田・伊藤・深川	32-33	
100	深川良一	アユタヤ Wat Krasai 仏塔の保全に関する一考察	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集、Vol.15	石田・伊藤・深川	225-232	
101	深川良一	修正 I-D 法による斜面崩壊予測の精度向上に向けた一連の降雨イベントの設定に関する検討	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集、Vol.15	檀上・酒匂・藤本・石澤・伊藤・深川	57-62	
102	深川良一	Inhibitory effect of ground improvement on the subsidence of the leaning pagoda	共著	2021年11月	Proc. of the 11th Int. Conf. on GEOMATE	Ishida, Ito and Fukagawa	6頁	
103	深川良一	Usage limit of lunar soil simulant	共著	2021年11月	Proc. of the 11th Int. Conf. on GEOMATE	Endo, Fukagawa and Kobayashi	6頁	
104	深川良一	スクリーオーガ掘削に及ぼすオーガ形状の影響に関する基礎的研究	共著	2021年11月	関西ジオシンポジウム2021 論文集、5-3	遠藤・深川・小林	6頁	
105	深川良一	テンシオメータの計測結果を加味した雨量指標による計測斜面での斜面崩壊予測精度向上に関する検討	共著	2021年3月	土木学会論文集C(地圏工学)、Vol. 77, No. 1	檀上・酒匂・藤本・石澤・伊藤・深川	87-102	
106	深川良一	Proposal of a method for determining the usage limit of lunar regolith simulant	共著	掲載決定	Int. Journal of GEOMATE	Endo, Fukagawa and Kobayashi	8頁	
107	福水洋平	オフロード環境下における無人運搬トラックのための自動操舵制御	共著	2021年10月	自動車技術会論文集 52巻5号	植月 悠記, 渥美 友喜, 倉鋪 圭太, 菅原 宏, 大場 優人, 前田 元気, 福水 洋平, 深尾 隆則	1155-1160	
108	福山智子	軍艦島の鉄とコンクリート	単著	2022年2月	土木学会誌	福山智子	掲載決定	
109	福山智子	カーボンナノチューブを混和したセメント系材料	共著	2021年9月	セメント・コンクリート, No. 895	福山智子, 金侖美, 山田悠二, 田中章夫	pp. 2-7	

		の建設材料としての適用可能性						
110	福山智子	セメント系材料中の鉄筋の腐食検出における電気化学ノイズ法適用に関する研究事例	単著	2021年8月	コンクリート工学, Vol. 59, No. 5	福山智子	pp. 685-693	
111	福山智子	STUDY ON RELATIONSHIP BETWEEN ELECTROCHEMICAL NOISE AND STRAINS ON CONCRETE SURFACE DURING REBAR CORROSION IN REINFORCED CONCRETE	共著	2021年7月	コンクリート工学年次論文集, Vol. 43, No. 1	Ejazulhaq RAHIMI, Yuma KAWASAKI, Tomoko FUKUYAMA, Yunmi KIM	pp. 1301-1306	
112	福山智子	AE法とEN法を併用した補修後のRC部材の鉄筋腐食評価に関する研究AE法とEN法を併用した補修後のRC部材の鉄筋腐食評価に関する研究	共著	2021年7月	コンクリート工学年次論文集, Vol. 43, No. 1	福井慎也, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美	pp. 1223-1228	
113	福山智子	曲げ変形を受ける断面修復コンクリートの補修範囲が早期劣化に及ぼす影響	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	神代康輔, 金侖美, 吉富信太, 福山智子	pp. 35-38	
114	福山智子	含水状態や荷重条件がモルタルの圧電効果に及ぼす影響	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	出口侑弥, 金侖美, 福山智子	pp. 51-56	
115	福山智子	炭素繊維を混和したセメントペーストの圧電特性に関する基礎的検討	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	Ma Jiachen, 福山智子, 金侖美	pp. 45-50	
116	福山智子	カーボンナノチューブのセメントペースト中への分散状況の定量評価に関する検討	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	福山智子, 金侖美, 山田悠二, 田中章夫	pp. 63-68	
117	福山智子	乾燥収縮率および静弾性係数の違いが断面修復コンクリートにおけるひずみおよび応力発生に及ぼす影響	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	平田佳奈実, 金侖美, 福山智子	pp. 21-26	
118	福山智子	歴史的建造物の含水分布検知に向けたコンクリート用電気インピーダンストモグラフィ実現に関する基礎的研究	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 15	金侖美, 福山智子	pp. 77-82	
119	福山智子	ひずみゲージによるコンクリートの熱変形の測定	共著	2021年6月	日本建築学会技術報告集, Vol. 27, No. 66	金侖美, 福山智子, 神代康輔, 吉富信太	pp. 622-625	
120	福山智子	電気化学ノイズ法によるコンクリート中の鋼材腐食評価について	共著	2021年5月	コンクリート工学, Vol. 59, No. 5	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨	pp. 422-427	
121	福山智子	Behavior of high-nickel type weathering steel bars in simulated pore solution and mortar under chloride-containing environment	共著	2021年5月	Journal of Advanced Concrete Technology 19(5)	Emel Ken D. Benito, Atsushi Ueno, Tomoko Fukuyama	pp. 370-381	
122	藤井健史	姫路城の周辺街路における天守・石垣・櫓の見え方の定量的分析: 歴史的景観保全と復興事前準備に向けた基礎的研究	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集 15	藤井健史・大下玲音	97-104	
123	藤井健史	緑化条例等に基づく敷地個別の緑化が街路緑視率の期待値へ与える影響	共著	2021年9月	日本建築学会日本建築学会大会学術講演梗概集	藤井健史・隅谷悠貴	455-456	
124	藤井健史	駅前ペDESTリアンデッキの形態的特性および接	共著	2021年12月	日本建築学会第44回情報・システム・利用・	藤井健史・原田陽介		

		続性に関する研究 一近畿圏の全鉄道駅を対象とした調査分析と類型化一			技術シンポジウム論文集			
125	藤本将光	Amplification of flood discharge caused by the cascading failure of landslide dams	共著	2021年6月	International Journal of Sediment Research	Shoki Takayama, Masamitsu Fujimoto, Yoshifumi Satofuka		
126	藤本将光	Numerical simulation method for predicting a flood hydrograph due to progressive failure of a landslide dam LANDSLIDES	共著	2021年7月		S. Takayama, S. Miyata, M. Fujimoto, Y. Satofuka		
127	藤本将光	兵庫県豊岡市出石地区における流木を伴う洪水氾濫検討	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集、15	井上 雄登・山田 脩策・藤本 将光・里深好文	69-76	
128	藤本将光	修正 I-D 法による斜面崩壊予測の精度向上に向けた一連の降雨イベントの設定に関する検討	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集、15	檀上徹・酒匂一成・藤本将光・石澤友浩・伊藤真一・深川良一	57-62	
129	藤本将光	現地モニタリングに基づく土壌雨量指数の妥当性の検討	共著	2021年11月	Kansai Geo-Symposium 2021 論文集	林祐妃・藤本将光・宮崎祐輔・小山倫史・中井卓巳・藤原康正・岸田潔	3-6	
130	藤本将光	網状鉄筋挿入工における杭設置条件が補強効果に及ぼす影響	共著	2021年11月	Kansai Geo-Symposium 2021 論文集	藤本将光・原田紹臣・高瀬蔵・里深好文・小西成治・疋田信晴・吉永憲次	5-8	
131	藤本将光	IMPACT OF UNDERGROUND DISPLACEMENT BEHAVIOR ON SLOPE FAILURE INITIATION DUE TO RAINFALL BASE ON EXPERIMENTAL STUDY	共著	2021年11月	The 11th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment, GEOMATE 2021	Qin Xin, Masamitsu Fujimoto, Yoshifumi Satofuka		
132	藤本将光	Bedrock Groundwater Catchment Area Unveils Rainfall-Runoff Processes in Headwater Basins	共著	2021年9月	Water Resources Research,57,9	N. Masaoka, K. Kosugi, M. Fujimoto	<a href="https://doi.org/10.1029/2021WR029888">https://doi.org/10.1029/2021WR029888</a>	
133	宗本晋作	木造密集市街地における避難シミュレーションを用いた路地の安全性評価法に関する研究	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集 vol.15	角井 孝行, 宗本 晋作	pp.185-192	
134	村中亮夫	安全安心マップ作成を通じた防災力向上と課題ー第14回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告ー	共著	2021年3月	京都歴史災害研究 (22号)	酒井宏平, 大橋弘明, Shakya Lata, 村中亮夫	49-56	
135	村中亮夫	Framework for Utilizing Disaster Learning Tools Classified by Real and Virtual Aspects of Community Space and Social Networks: Application to Community-based Disaster Risk Reduction and School Disaster Education on Earthquakes in Japan	共著	2021年12月	Progress in Disaster Science (12巻)	Yusuke Toyoda, Akio Muranaka, Down Kim, Hidehiko Kanegae	8 pages (Open Access Journal)	

		for During- and Post-COVID-19 Periods						
136	村中亮夫	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行下におけるハイブリッド型による GIS 実習の実践と課題—熊本大学・北海学園大学・立命館大学の事例—	共著	2021 年 12 月	GIS-理論と応用 (29 巻 2 号)	米島万有子, 谷端郷, 村中亮夫	161-168	
137	持田泰秀	STUDY ON DEVELOPMENT OF SOIL IMPROVEMENT PILE METHOD USING RECYCLED SOIL	共著	2021 年 4 月	International Journal of GEOMATE 20(82)	Yasuhide Mochida Ogunbiyi Joshua Olabamiji Kouhei Kasahara	28-33	
138	持田泰秀	PCa 工法の BIM活用と生産性に関する研究—現状の活用の事例を通しての考察—	共著	2021 年 8 月	第 36 回建築生産シンポジウム	持田泰秀 坂田博史		
139	矢野桂司	2010 年代末における京都市の宿泊施設 GIS データベースの構築とその活用	単著	2021 年 3 月	立命館文學 672	矢野桂司	111-129	
140	矢野桂司	「祇園祭デジタル・ミュージアム 2020」の構築・公開について	共著	2021 年 3 月	E-journal GEO 16(1)	佐藤弘隆・武内樹治・今村聡・矢野桂司	87-101	
141	矢野桂司	Construction of GIS Database of Alexandria Based on the Old Maps	共著	2021 年 3 月	アート・リサーチ 21	Mohamed SOLIMAN, Tomoyuki USAMI, Satoshi IMAMURA and Keiji YANO	33-44	
142	矢野桂司	「平安京跡データベース」の利活用に向けた課題とその検証	共著	2021 年 3 月	アート・リサーチ 21	武内樹治・今村聡・矢野桂司	71-81	
143	矢野桂司	防災と GIS をつなげる	共著	2021 年 5 月	岩波書店科学 91(5)	松多信尚・矢野桂司	449-453	
144	矢野桂司	デジタル・アーカイブの新たな展開:「祇園祭デジタル・ミュージアム 2020」の事例	共著	2021 年 5 月	第一法規文化財 2021(5)	矢野桂司・佐藤弘隆	24-26	
145	矢野桂司	2005 年以降の日本学術会議における地理教育と地図/GIS 教育の展開	単著	2021 年 5 月	エストレーラ 326	矢野桂司	15-19	
146	矢野桂司	数理・計量地理学の過去、現在、未来:計量革命、GIS 革命、空間ビッグデータ革命	単著	2021 年 9 月	日本建築学会建築討論	矢野桂司	Web	
147	山田悟史	没入型 VR 空間における空間知覚の研究 - パーソナルスペースを対象とした困われ感についての距離の知覚と心理評価-	共著	2021 年 6 月	日本建築学会日本建築学会技術報告集 27(66)	北本 英里子, 山田 悟史, 神長 伸幸	1104-1109	
148	山田悟史	AED の施設単位及び都市空間における運用状況の把握と課題 - 施設管理者に対する意識調査と対象地の被圏域人口分析を用いて-	共著	2021 年 7 月	日本建築学会日本建築学会計画系論文集 86(785)	江川 香奈, 荒木 望, 山田 悟史	1882-1891	
149	山本理佳	フィールドワーク的観光の可能性—親密性をめぐる—試論	単著	2022 年 1 月	立命館大学人文科学研究紀要	131	135-153	
150	吉富信太	木造住宅の設計情報及び微動計測を用いた非構造	共著	2022 年 1 月	日本建築学会構造系論文集 87(791)	羽原 琢朗	pp. 42-48	

		要素を考慮した初期層剛性の推定モデルの構築						
151	吉富信太	制振建物に設置する座屈拘束ブレースの性能と配置箇所の合理的決定法に関する研究	共著	2021年7月	日本建築学会構造系論文集 86(785)	原田大輔	pp. 1046-1055	
152	吉富信太	伝統木造建物における柱脚の滑りを考慮した解析モデルの検討	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集 15	中本 蒼馬	pp. 241-246	
153	吉富信太	曲げ変形を受ける断面修復コンクリートの補修範囲が早期劣化に及ぼす影響	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集 15	神代 康輔	pp. 35-38	
154	吉富信太	ひずみゲージによるコンクリートの熱変形の測定	共著	2021年6月	日本建築学会技術報告集, 27巻, 66号	金 侖美	pp. 622-625	
155	吉富信太	旧加悦町役場庁舎の耐震改修に関する調査研究報告: 令和の大修理	共著	2021年3月	京都歴史災害研究, 第22巻	鈴木 祥之	pp. 1-27	
156	SHAKYA Lata	Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, 2020	共編者 (共編著者)	2021年2月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Rohit Jigyasu, Down Kim, Lata Shakya, Wesley Webb Cheek		
157	SHAKYA Lata	安全安心マップ作成を通じた防災力向上と課題—「第14回みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2021年3月	立命館大学歴史都市防災研究所京都歴史災害研究	酒井宏平、大橋 弘明、SHAKYA Lata、村中亮夫	49-56	
158	SHAKYA Lata	ネパールの歴史都市の共用空間(中庭)と災害対応	単著	2021年4月	NPO 法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫 NPO 法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫 レター 2021 春号 No. 82 82	サキヤ ラタ	8-10	
159	SHAKYA Lata	2015年ゴルカ地震後の公的な災害対応体制と自主的避難所の運営	共著	2021年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 Vol. 15	サキヤ ラタ、大窪 健之、小川 和馬、金 度源	233-240	
160	SHAKYA Lata	世界文化遺産パタン地区での行政と地域による防災対策の連携に関する研究	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 15	小川 和馬 サキヤ ラタ 大窪 健之 金 度源	291-298	
161	SHAKYA Lata	歴史都市パタンにおける地域資源を活かした中庭空間のみなし避難所としての運営	共著	2021年9月	日本建築学会全国大会 日本建築学会全国大会(東海)梗概集	サキヤ ラタ、大窪健之	27-28	
162	大橋弘明	安全安心マップ作成を通じた防災力向上と課題—「第14回みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2021年3月	京都歴史災害研究(22)	酒井宏平、大橋 弘明、SHAKYA Lata、村中亮夫	49-56	
163	大橋弘明	都市縮小時代での伝統的建造物群保存地区の社会的脆弱性と今後のコミュニティ防災に関する考察—豊岡市出石伝統的建造物群保存地区を事例として—	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集(15)	大橋弘明、留野僚也、豊田祐輔、酒井宏平、鐘ヶ江秀彦	137-144	
164	大橋弘明	地域コミュニティに内在する防災と文化遺産保全	共著	2021年7月	歴史都市防災論文集(15)	留野僚也、大橋弘明、豊田	161-168	

		の隔たり-都市縮小段階をむかえた京都市を事例に-				祐輔, 酒井宏平, 壽崎かすみ, 鐘ヶ江秀彦	
165	大橋弘明	Contrasts in suburban decline: A tale of three key outer suburban "Business Core Cities" in Tokyo Metropolis	共著	2021年9月	Urban Geography	Hiroaki Ohashi, Nicholas A. Phelps	OnlineFirst
166	大橋弘明	Suburban (mis)fortunes: Outer suburban shrinkage in Tokyo Metropolis, Urban Studies	共著	2021年11月	Urban Studies (58 (14))	Hiroaki Ohashi, Nicholas A. Phelps	3029-3049
167	大橋弘明	安全安心マップ作成による地域防災力の向上のための課題に関する考察—「第15回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告を通じて—	共著	2022年3月	京都歴史災害研究(23)	大橋弘明, CHEEK Wesley Webb, 村中亮夫	
168	CHEEK Wesley Webb	The Social Reduction of Risk: History, Tangible, and Intangible Heritage in Minamisariku, Japan	単著	2021年7月	立命館大学・歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集(15)	Wesley Cheek	169-176
169	CHEEK Wesley Webb	安全安心マップの作成による地域防災力の向上のための考察—「第15回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」を通じて—	共著	2022年3月	京都歴史災害研究(第23号)	大橋弘明 Wesley Cheek 村中亮夫	

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	青柳憲昌	「アーカイブ調査でみえてきた 法隆寺金堂壁画と昭和大修理—法隆寺シンポジウム—法隆寺金堂の謎に迫る」、主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社	2021年2月	「法隆寺シンポジウム—法隆寺金堂の謎に迫る」	青柳憲昌
2	青柳憲昌	「出石旧城下町の防災文化的価値（出石伝建地区防災計画 住民報告会）」豊岡市出石振興局	2021年2月	出石伝建地区防災計画 住民報告会	青柳憲昌
3	青柳憲昌	「『文化財防災』の象徴としての法隆寺金堂焼損壁画—昭和大修理における写真撮影による記録保存、および合成樹脂による保存処理について—」	2021年6月	立命館大学歴史都市防災研究所定例研究会	青柳憲昌
4	青柳憲昌	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 2020年度事業報告」	2021年7月	第6回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合/第7回法隆寺金堂壁画保存活用委員会	青柳憲昌
5	青柳憲昌	「〈西陣寺之内通の町家〉2021—「町家」保存活用の文化的意義と可能性—」	2021年11月	日本建築学会近畿支部民家部会令和3年度研究発表会「民家保存の初期衝動」	青柳憲昌
6	青柳憲昌	「亀岡市 酒井家住宅・広瀬家住宅について —能勢地方の平入民家の系譜との関連性—」	2021年12月	「住空間史学」構築のための分野横断的研究」科学研究費基盤研究(B)研究会、	青柳憲昌
7	泉知論	小型自律移動ロボットの経路計画における棄却サンプリングの再提案	2021年5月	第65回 システム制御情報学会研究発表講演会 (SCI'21), Gsd-01-4, pp.970-976	浅海悠人, 石田祐太, 泉知論

8	泉知論	FPGA 向け乱数生成モジュールの高位合成 IP 化設計と比較検討	2021 年 12 月	電子情報通信学会 技術研究報告 , vol.121. no. 280, RECONF2021-48, pp. 133-138	浅海悠人, 泉知論
9	宇佐美智之	Synthesis of Geospatial Database and Interdisciplinary to Achieve NSDS for Downtown Alexandria, Egypt Vision 2030	2021 年 12 月	the 30th International Cartographic Conference	Mohamed Soliman, Tomoyuki Usami, Satoshi Imamura, Keiji Yano, Hrishikesh Ballal, Abbas Mohamed Abbas, Tharwat, Abdel Fattah, Sameh El-Kafrawy, Hossam El-Sayed, Amr El-Shafie
10	宇佐美智之	Sustainable Alternative Future for Kom Al-Nadura Cultural Heritage site, Alexandria, NSDS Egypt Vision 2030	2021 年 10 月	第 30 回地理情報システム学会	Mohamed Soliman, Tomoyuki Usami, Satoshi Imamura, Keiji Yano, Hrishikesh Ballal, Raghda El-Nezory, Rasha Abdelrasoul, Doaa Ali, Asmaa Elkafrawy
11	宇佐美智之	URBAN CHANGE SURVEY OF MEDIEVAL ALEXANDRIA (EVOLUTION DESTINATIONS AND SHRINKAGE FACTORS VIA REMOTE SENSING AND GIS)	2021 年 8 月	the 34th International Geographical Congress	Mohamed SOLIMAN, Tomoyuki USAMI, Satoshi IMAMURA, Keiji YANO
12	宇佐美智之	中央アジア・ザラフシャン川流域における 1960 年代以降の遺跡環境の変化 : CORONA 衛星写真と Google Earth の判読から	2021 年 7 月	第 15 回歴史都市防災シンポジウム	宇佐美 智之
13	宇佐美智之	GIS 可視領域分析を用いた高地性集落の立地と焼土坑の評価	2021 年 3 月	日本情報考古学会第 44 回大会	宇佐美 智之
14	大窪健之	世界文化遺産パタン地区での行政と地域による防災対策の連携に関する研究	2021 年 7 月	歴史都市防災論文集 (報告), vol. 15, pp. 291-298	小川和馬・大窪健之・サキヤラタ・金度源
15	大窪健之	文化遺産防災マニュアルの改訂に向けた一考察～都道府県・政令指定都市が発行した文化財を対象とする災害対策マニュアルの運用事例調査を通して～	2021 年 7 月	歴史都市防災論文集 (報告), vol. 15, pp. 259-266	金度源・山口奨・大窪健之
16	小川圭一	歴史都市における道路整備の時期と道路構造による交通事故多発状況の比較 - 京都府と滋賀県を対象として -	2021 年 7 月	第 15 回歴史都市防災シンポジウム	溝口万里江, 小川圭一
17	小川圭一	消費者余剰の推定による観光資源としての京都市内の文化遺産の価値の考察	2021 年 7 月	第 15 回歴史都市防災シンポジウム	森祐輔, 小川圭一
18	鐘ヶ江秀彦	Analysis of the Impact of Technology on Culture in Indigenous Communities: Mentawai Islands, Indonesia	2021 年 1 月	Conference: 2nd Southeast Asian Academic Forum on Sustainable Development (SEA-AFSID 2018)	Zulfadrim
19	鐘ヶ江秀彦	IOP Conference Series: Earth and Environmental Science Local risk managers' and disaster volunteers' awareness of, attitudes toward, and intention to use a local government-developed disaster information system: A Case study of SIKK Magelang Local risk managers' and disaster volunteers' awareness of, attitudes toward, and intention to use a local government-developed disaster information system: A Case study of SIKK Magelang	2021 年 5 月	IOP Conference Series 2021 Earth and Environmental Science 708(1)	Kartika Puspita Sari
20	鐘ヶ江秀彦	都市縮小時代での伝統的建造物群保存地区の社会的脆弱性と今後のコミュニティ防災に関する考察 : 豊岡市出石伝統的建造物群保存地区を事	2021 年 7 月	立命館大学歴史都市防災研究所・第 15 回歴史都市防災シンポジウム (2021)	大橋 弘明

		例として			
21	鐘ヶ江秀彦	地域コミュニティに内在する防災と文化遺産保全の隔たり：都市縮小段階をむかえた京都市を事例に	2021年7月	立命館大学歴史都市防災研究所・第15回歴史都市防災シンポジウム(2021)	留野僚也
22	鐘ヶ江秀彦	Providing disaster information to inbound tourists Case study for the historical city of Kyoto, Japan	2021年9月	International Conference on "INVISIBLE RECONSTRUCTION. Cross disciplinary responses to disaster and approaches to sustainable resilience"	Kohei Sakai
23	鐘ヶ江秀彦	2016年熊本地震における被災者支援組織の対応ニーズの時系列分析	2021年10月	日本地域学会第58回(2021)年次大会学術発表論文集	留野僚也
24	鐘ヶ江秀彦	避難所運営・支援ゲーミングの設計—京都市避難所運営マニュアル(2012)に基づいて—	2021年12月	日本シミュレーション・ゲーミング学会2021年秋季全国大会	加減航
25	川崎佑磨	RC部材の背面側の鉄筋を対象としたリハビリカプセル工法による亜硝酸リチウムの浸透範囲に関する研究	2021年3月	既設コンクリート構造物の予防保全を目的とした調査・診断・補修に関する研究委員会	川崎佑磨、康田雄太、北田達也、江良和徳
26	川崎佑磨	振動締め固め時間がコンクリートの品質に与える影響	2021年5月	2021年度土木学会関西支部年次学術講演会	坂野大世、山田悠二、川崎佑磨
27	川崎佑磨	Study on Damage Evaluation of Laminated Rubber Bearing using AE Method	2021年9月	The 17th World Conference on Earthquake Engineering	Y. Kajiki, K. Ueda, K. Izuno, Y. Kawasaki
28	川崎佑磨	モルタル-模擬粗骨材界面の模擬欠陥体積が圧縮破壊過程に及ぼす影響	2021年9月	土木学会全国大会第76回年次学術講演会	清水駿太郎、川崎佑磨、山田悠二
29	川崎佑磨	橋梁用積層ゴム支承のAE法による非破壊評価と断面観察に関する研究	2021年9月	土木学会全国大会第76回年次学術講演会	加治木悠斗、植田健介、伊津野和行、川崎佑磨
30	川崎佑磨	RI法によるポーラスコンクリートの空隙率推定に関する検討	2021年9月	中性子線を用いたコンクリートの検査・診断に関するシンポジウム	川崎佑磨、岡本享久、白川裕太、王子哲
31	川崎佑磨	電気化学ノイズによる補修したコンクリート中の鉄筋の腐食形態把握に関する基礎的検討 その1 時間領域の解析	2021年9月	2021年度日本建築学会大会学術講演会	川崎佑磨、金侖美、福山智子
32	川崎佑磨	電気化学ノイズによる補修したコンクリート中の鉄筋の腐食形態把握に関する基礎的検討 その2 時間一周波数領域の解析	2021年9月	2021年度日本建築学会大会学術講演会	福山智子、金侖美、川崎佑磨
33	川崎佑磨	AEパラメータに着目した振動締め固め時間を変化させたコンクリート内部の破壊挙動に関する一考察	2021年11月	第23回アコースティック・エミッション総合コンファレンス	坂野大世、山田悠二、川崎佑磨
34	河角直美	カラー写真と占領期京都研究	2022年1月	立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター 第22回メディア資料研究会	河角直美・衣川太一
35	北本英里子	建築情報学の演習課題に対する授業アンケートの報告-デジタルファブリケーション技術を用いたステーションナリーの作成-	2021年9月	日本建築学会、日本建築学会大会(東海)、学術講演梗概集、情報システム技術	北本英里子
36	北本英里子	音と形状の変化に対する空間認知に着目したデザインに関する研究	2021年12月	日本建築学会、第44回情報・システム・利用・技術シンポジウム	北本英里子
37	金度源	文化遺産防災マニュアルの改訂に向けた一考察：都道府県・政令指定都市が発行した文化財を対象とする災害対策マニュアルの運用事例調査を通して	2021年7月	歴史都市防災シンポジウム	金度源、山口 奨、大窪 健之
38	金度源	世界文化遺産パタン地区での行政と地域による防災対策の連携に関する研究	2021年7月	歴史都市防災シンポジウム	小川 和馬、大窪 健之、サキヤラタ、金度源
39	金侖美	曲げ変形した断面修復コンクリートの早期劣化に及ぼす補修部の形状の影響	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	神代康輔、金侖美、吉富信太、福山智子
40	金侖美	乾燥収縮率差による引張応力が断面修復コンクリートの表面ひび割れおよび界面剥離に及ぼす影響	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	平田佳奈実、福山智子、金侖美



41	金侖美	電気化学ノイズによる補修したコンクリート中の鉄筋の腐食形態把握に関する基礎的検討 その2:時間一周波数領域の解析	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨
42	金侖美	炭素繊維を混入したセメントペーストの圧電効果によるRC構造物セルフモニタリングの可能性に関する検討	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	馬嘉辰, 福山智子, 金侖美
43	金侖美	含水状態がモルタルの圧電効果に及ぼす影響	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	出口侑弥, 金侖美, 福山智子
44	金侖美	電気化学ノイズによる補修したコンクリート中の鉄筋の腐食形態把握に関する基礎的検討 その1:時間領域の解析	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	川崎佑磨, 金侖美, 福山智子
45	金侖美	建築情報学(CAD・CG)の演習課題に対する授業アンケートの報告 - デジタルファブリケーション技術を用いたステイショナリーの作成 -	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	北本英里子, 原田真衣, 福山智子, 金侖美, 山田悟史
46	金侖美	断面修復部の界面付近における応力発生に及ぼす静弾性係数および熱膨張係数の影響	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	金侖美, 福山智子, 神代康輔, 吉富信太
47	金侖美	RC梁の断面修復部の曲げ変形によるひび割れ発生を考慮した解析的検討	2021年5月	第73回セメント技術大会	神代康輔, 吉富信太, 金侖美, 福山智子
48	小林泰三	出石城郭郭石垣の地震時安定性評価	2021年7月	第56回地盤工学研究発表会	山元遼太, 三反畑慶, 西村正三, 安井伸顕, 小林泰三
49	小林泰三	3次元測量技術を活用した地層構造の逆解析に関する基礎的研究	2021年7月	第56回地盤工学研究発表会	宮原 悟, 財津駿平, 松浦 敦, 小林泰三
50	小林泰三	雨による地下水位と粘着力の変動を考慮した斜面安定解析の提案	2021年7月	第56回地盤工学研究発表会	窪津俊亮, 安田有輝, 小林泰三
51	夏目宗之	日本の歴史GISプラットフォームの構築 -Japanese Old Maps Online-	2021年10月	第30回地理情報システム学会学術研究発表大会	夏目 宗幸, 今村 聡, 鎌田遼, 矢野 桂司, Benjamin Lewis
52	夏目宗之	武蔵野の新田村落名にみる「前」の意味に関する考察	2021年3月	日本地理学会発表要旨集	北西 諒介, 夏目 宗幸
53	平尾和洋	バリの特別POSにおける都市組織とコントロール手法の関係性についての考察-1996年承認のムフタル地区規制改訂を通して-	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第61号計画系 pp. 317-320	平尾 和洋
54	平尾和洋	既往研究データに基づく漁家主屋の平面形式類型とその分布・規模	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第61号計画系, pp. 169-172	
55	平尾和洋	漁村集落における集落空間構成に関する研究	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第61号計画系, pp. 189-192	
56	平尾和洋	宇治茶生産集落和東町湯船地区における集落構成および主屋架構の諸特性分析	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第61号計画系, pp. 177-180	
57	平尾和洋	出石伝統的建造物群保存地区の町家における平面構成の分析-オモテの平面構成と複室化に着目して-	2021年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第61号計画系, pp. 173-176	
58	平尾和洋	出石伝統的建造物群保存地区の町家における平面構成の分析-オモテの平面構成と複室化に着目して-	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集, pp. 267-268	
59	平尾和洋	既往研究データに基づく漁家主屋の平面形式類型とその分布・規模	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集, pp. 61-62	
60	平尾和洋	漁村集落における集落空間構成に関する研究	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集, pp. 39-40	
61	平尾和洋	宇治茶生産集落和東町湯船地区における集落構成および主屋架構の諸特性分析	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集, pp. 35-36	
62	深川良一	レゴリスシミュラントを用いた実験の再現性に関する研究	2021年7月	地盤工学会研究発表会	遠藤慧人
63	深川良一	テンソメータの計測結果を加味した新たな雨量指標の提案	2021年7月	地盤工学会研究発表会	檀上 徹
64	深川良一	修正I・D法による斜面崩壊予測精度	2021年9月	土木学会全国大会年次学術講演	檀上 徹

		向上に関する検討		会	
65	深川良一	レゴリスシミュラントの性状変化に及ぼす使用履歴の影響	2021年11月	テラメカニクス研究会	遠藤慧人
66	福山智子	曲げ変形した断面修復コンクリートの早期劣化に及ぼす補修部の形状の影響	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	神代康輔, 金侖美, 吉富信太, 福山智子
67	福山智子	乾燥収縮率差による引張応力が断面修復コンクリートの表面ひび割れおよび界面剥離に及ぼす影響	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	平田佳奈美, 福山智子, 金侖美
68	福山智子	電気化学ノイズによる補修したコンクリート中の鉄筋の腐食形態把握に関する基礎的検討 その2:時間一周波数領域の解析	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	福山智子, 金侖美, 川崎佑磨
69	福山智子	炭素繊維を混入したセメントペーストの圧電効果による RC 構造物セルフモニタリングの可能性に関する検討	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	馬嘉辰, 福山智子, 金侖美
70	福山智子	含水状態がモルタルの圧電効果に及ぼす影響	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	出口侑弥, 金侖美, 福山智子
71	福山智子	電気化学ノイズによる補修したコンクリート中の鉄筋の腐食形態把握に関する基礎的検討 その1:時間領域の解析	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	川崎佑磨, 金侖美, 福山智子
72	福山智子	建築情報学 (CAD・CG) の演習課題に対する授業アンケートの報告 - デジタルファブリケーション技術を用いたステイショナリーの作成 -	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	北本英里子, 原田真衣, 福山智子, 金侖美, 山田悟史
73	福山智子	断面修復部の界面付近における応力発生に及ぼす静弾性係数および熱膨張係数の影響	2021年9月	日本建築学会大会学術講演	金侖美, 福山智子, 神代康輔, 吉富信太
74	福山智子	RC 梁の断面修復部の曲げ変形によるひび割れ発生を考慮した解析的検討	2021年5月	第73回セメント技術大会	神代康輔, 吉富信太, 金侖美, 福山智子
75	藤本将光	山地斜面における不均質な土壌透水性分布が排水能力に及ぼす影響	2021年3月	第132回日本森林学会大会	柳井鴻太郎・正岡直也・小杉賢一朗・藤本将光
76	藤本将光	現地観測に基づいた堆積岩山地と花崗岩山地の降雨流出特性の比較	2021年3月	第132回日本森林学会大会	稲岡諄・小杉賢一朗・正岡直也・糸数 哲・中村公人・藤本将光
77	藤本将光	山地斜面における不均質な土壌透水性分布が排水能力に及ぼす影響	2021年5月	R3年度砂防学会研究発表会	柳井鴻太郎・正岡直也・小杉賢一朗・藤本将光
78	藤本将光	改良型 HCYC モデルを用いた山地河流域の降雨流出特性に関する考察	2021年5月	R3年度砂防学会研究発表会	稲岡諄・小杉賢一朗・正岡直也・糸数哲・中村公人・藤本将光
79	藤本将光	降雨時の斜面崩壊における地下水及び変形挙動に関する実験的検討	2021年5月	R3年度砂防学会研究発表会	覃馨・藤本将光・里深好文
80	藤本将光	豪雨災害を知る	2021年9月	京都大学第21回市民講座-防災リスクを考える-豪雨災害に備える	藤本将光
81	宗本晋作	PIECE HOSTEL SANJO EAST	2021年11月	2020 BUGAIK International Architecture Exhibition, Architectural Institute of Korea,	宗本晋作
82	持田泰秀	パラフィン系潜熱蓄熱材 (Phase Change Material) を混入したモルタルに関する研究 - 細骨材置換率と一軸圧縮強度の関係 -	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	持田泰秀 和田健吾
83	持田泰秀	PCa 工法と在来工法の材齢2年間に於けるコンクリート表層性能の変化に関する研究 その1:表層性能試験結果と材齢の関係	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	三品雄資 猪股史也 持田泰秀 坂田博史
84	持田泰秀	PCa 工法と在来工法の材齢2年間に於けるコンクリート表層性能の変化に関する研究 その2:水セメント比及び含水率の影響と表層品質評価	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	猪股史也 三品雄資 持田泰秀 坂田博史

85	持田泰秀	従来型と新型の Torrent 法透気試験機でのコンクリート表層性能評価に関する研究—プレキャスト工法と在来工法のコンクリートにおいて—	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	持田泰秀 胡邵博
86	持田泰秀	杭の施工品質確認のためのデータ送信に関する実験的研究—水を減衰媒体とする無線通信性状—	2021年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	持田泰秀 眞庭颯大 足立壮之 佐藤朗
87	持田泰秀	STUDY ON SURFACE PERFORMANCE OF CONCRETE CONSTRUCTED BY PRECAST METHOD AND ON-SITE METHOD	2021年11月	The 7th International Conference on Structure, Engineering & Environment (SEE2021), Thailand, 10-12 November 2021	Yasuhide Mochida, Hiroshi Sakata, Hu Shaobo
88	矢野桂司	2030年エジプト・アレクサンドリアの潜在的な文化遺産を維持するための地理学アプローチ：観光産業のためのラテン近隣の視覚化	2021年3月	2021年日本地理学会春季学術大会	モハメド ソリマン*, 宇佐美智之, 今村聡, 矢野桂司 (立命館大学), Abbas Mohamed ABBAS (NRIAG), Tharwat ABDEL FATTAH (Alexandria University), Hossam EL-SAYED (NIOF), Amr EL-SHAFFIE (ECSARS)
89	矢野桂司	(提言)『「地理総合」で変わる新しい地理教育の充実に向けて—持続可能な社会づくりに貢献する地理的資質能力の育成—』の概要	2021年3月	2021年日本地理学会春季学術大会 シンポジウム S4: 新しい地理教育のスタートに向けて	矢野 桂司
90	矢野桂司	立命館大学アート・リサーチセンター (ARC) の研究実践紹介	2021年5月	第二回 立命館大学-清華大学国際学術シンポジウム「日中文化交流と人文学の新たな座標」	金子貴昭・赤間亮・矢野桂司
91	矢野桂司	祇園祭への立命館大学アート・リサーチセンターの取り組み	2021年6月	祇園祭鷹山の復興～2022年の山鉦巡行に向かって～	矢野桂司
92	矢野桂司	Constructing the Integrated Portal Site of Japanese Old Maps	2021年8月	the 34th International Geography Congress	Keiji Yano, Satoshi Imamura and Ryo Kamata
93	矢野桂司	URBAN CHANGE SURVEY OF MEDIEVAL ALEXANDRIA (EVOLUTION DESTINATIONS AND SHRINKAGE FACTORS VIA REMOTE SENSING AND GIS)	2021年8月	the 34th International Geographical Congress	Mohamed SOLIMAN, Tomoyuki USAMI, Satoshi IMAMURA, Keiji YANO
94	矢野桂司	The Gion Festival Digital Museum 2020 & 2021: The Past, Present, and Future of the Gion Festival (in 2020) Enjoy the Gion Festival Virtually (in 2021)	2021年9月	Strengthening the Resilience of African Memory Institutions in the face of COVID-19 and beyond	Keiji Yano
95	矢野桂司	新しい地理教育に対して大学がすべきことは何か？	2021年9月	シンポジウム S2 公開 「新たな高等学校地理教育体系における高大接続を考える」	矢野桂司
96	矢野桂司	Motivation and Accurateness of Mapping Premodern Alexandria: GIS Criticism on Gaston Jondet's Atlas	2021年9月	日本地理学会 2021年秋季学術大会	Mohamed SOLIMAN and Keiji YANO
97	矢野桂司	Examining geographical generalisation of machine learning models in urban analytics through street frontage classification and house price regression	2021年9月	GIScience 2021	Stephen Law, Peter Jeszszsky and Keiji Yano.
98	矢野桂司	日本の歴史 GIS プラットフォームの構築 —Japanese Old Maps Online—	2021年10月	第30回地理情報システム学会学術研究発表大会	夏目 宗幸・今村 聡・鎌田 遼・矢野 桂司・ Benjamin Lewis
99	矢野桂司	京都地籍図データベースを用いた明治末期地価分布のホットスポット分析	2021年10月	第30回地理情報システム学会学術研究発表大会	青木 和人・矢野 桂司
100	矢野桂司	Sustainable Alternative Future for Kom Al-Nadura Cultural Heritage site, Alexandria, NSDS	2021年10月	第30回地理情報システム学会学術研究発表大会	Mohamed Soliman・ Tomoyuki Usami・ Satoshi Imamura・ Keiji Yano・

		Egypt Vision 2030			Hrishikesh Ballal・Raghda El-Nezory・Rasha Abdelrasoul・Doaa Ali and Asmaa Elkafrawy
101	矢野桂司	平安京跡データベースを用いた遺跡マネジメントの分析と検証	2021年10月	第30回地理情報システム学会学術研究発表大会	武内 樹治・矢野 桂司
102	矢野桂司	Virtual Kyoto Project	2021年11月	One day Workshop on Digitization of Historical Cities in Egypt and Japan	Keiji Yano
103	矢野桂司	Virtual Kyoto Project: Discovering Integrated Knowledge in Digital Humanities	2021年12月	ANGIS Tokyo 2021	Keiji Yano
104	矢野桂司	歴史都市時空間散歩: デジタル人文学の視点から	2021年12月	2021年度文学部校友会 新清心館・啓明館完成記念企画	矢野桂司
105	矢野桂司	Construction of an Old-Map Framework for Promoting Historical GIS Research and Education	2021年12月	the 30th International Cartographic Conference	Keiji Yano, Satoshi Imamura, Ryo Kamata, Muneyuki Natsume, Benjamin Lewis
106	矢野桂司	Synthesis of Geospatial Database and Interdisciplinary to Achieve NSDS for Downtown Alexandria, Egypt Vision 2030	2021年12月	the 30th International Cartographic Conference	Mohamed Soliman, Tomoyuki Usami, Satoshi Imamura, Keiji Yano, Hrishikesh Ballal, Abbas Mohamed Abbas, Tharwat Abdel Fattah, Sameh El-Kafrawy, Hossam El-Sayed, Amr El-Shafie
107	矢野桂司	The Heian-Kyo Site' S Database and Platform: Their Construction and Utilization	2021年12月	the 30th International Cartographic Conference	Mikiharu Takeuchi, Keiji Yano
108	山崎有恒	明治期のコレラ流行と漢方医学	2021年7月	第42回立命館史学会大会	山崎有恒
109	山崎有恒	歴史学から防災を学ぶ～近代河川行政及び防火行政への影響～	2021年11月	立命館びわこ講座	山崎有恒
110	山田悟史	宮大工の技術的暗黙知の多角的保存と可視化 -Human Computer Interaction 技術を用いた伝統技術の継承	2021年7月	歴史都市防災論文集 vol.15 (報告), pp. 247-252, 2021.7, 歴史都市防災研究所	小島尚之, 山田悟史
111	山田悟史	VR空間で提示する視覚刺激の時間速度が体感時間に与える影響の検証	2021年7月	日本バーチャルリアリティ学会大会論文集 vol. 26, 2021.9, 日本バーチャルリアリティ学会	小池田 樹, 神長 伸幸, 山田 悟史
112	山田悟史	宮大工の技術的暗黙知の多角的保存と可視化 -Human Computer Interaction 技術を用いた伝統技術の継承-	2021年9月	日本建築学会大会(東海) 学術講演梗概集(建築社会システム), pp. 145-146, 2021.9, 日本建築学会	小島尚之, 山田悟史
113	山田悟史	情報技術を用いた遠隔地に住む家族間の状態共有に関する研究	2021年9月	日本建築学会大会(東海) 学術講演梗概集(センシング), pp. 79-80, 2021.9, 日本建築学会	原田真衣, 谷口千明, 山田悟史
114	山田悟史	Uncontact Communication House- 別々に暮らす家族のための状態共有建築	2021年9月	日本建築学会大会(東海) 建築デザイン発表梗概集, pp. 188-189, 2021.9, 日本建築学会	原田真衣, 山田悟史
115	山田悟史	VR空間における人の体感時間-異なる時間速度のVR映像による視覚刺激を用いて-	2021年9月	日本建築学会大会(東海) 学術講演梗概集(情報システム技術), pp. 203-204, 2021.9, 日本建築学会	小池田樹, 山田悟史
116	山田悟史	建築情報学の演習課題に対する授業アンケートの報告-デジタルファブリケーション技術を用いたステーションナリーの作成-	2021年9月	日本建築学会大会(東海), 学術講演梗概集(情報システム技術), pp. 117-119, 2021.9, 日本建築学会	北本英里子, 原田真衣, 福山智子, 金侖美, 山田悟史
117	山田悟史	大工仕事における経験者と初心者の多角的比較 -Human Computer Interaction 技術を用いた伝統技術の継承-	2021年12月	第44回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 359-362, 2021.12, 日本建築学会	小島尚之, 高崎将太郎, 山田悟史

118	山田悟史	Deep Learning を用いたデザイン生成 AI に対する意識調査と認知拡張の検証	2021 年 12 月	第 44 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.467-470, 2021. 12, 日本建築学会	原田真衣, 山田悟史
119	山田悟史	深層学習を用いた異常検知による転倒把握に関する研究-OpenPose による特徴量抽出と分類-	2021 年 12 月	第 44 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp435-438, 2021. 12, 日本建築学会	柴田拓海, 山田悟史
120	山田悟史	3 種の深層学習を用いた建築デザインの参照関係の可視化と近似性の解釈	2021 年 12 月	第 44 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.439-442, 2021. 12, 日本建築学会	越智広樹, 谷川奈央, 山田悟史
121	山田悟史	音と形状の変化に対する空間認知に着目したデザインに関する研究	2021 年 12 月	第 44 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集, インタラクティブ発表, 607-607, 2021 年 12 月, 京都	北本英里子, 山田悟史
122	吉富信太	曲線部材で構成された木造ユニット耐力壁の性能指定設計手法の提案	2021 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	北地水砂騎
123	吉富信太	高層建物の曲げ変形および地盤変形を考慮したシステム同定	2021 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	松岡章吾
124	吉富信太	中間層免震建物の総合性能指標に基づく免震層性能と設置層の合理的決定法	2021 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	チョウ チュウメイ
125	吉富信太	伝統木造建物における柱脚の滑りを考慮した解析モデルの検討	2021 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	中本蒼馬
126	吉富信太	CLT 耐震壁の配置の違いが建物性能に及ぼす影響に関する検討	2021 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	星山和輝
127	吉富信太	曲げ変形した断面修復コンクリートの早期劣化に及ぼす補修部の形状の影響	2021 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	神代康輔
128	吉富信太	伝統木造建物における柱脚の滑りを考慮した解析モデルの検討	2021 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	中本蒼馬
129	吉富信太	曲線部材で構成された木造ユニット耐力壁の性能指定設計手法の提案	2021 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	北地水砂騎
130	吉富信太	高層建物の曲げ変形および地盤変形を考慮したシステム同定	2021 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	松岡章吾
131	吉富信太	中間層免震建物の総合性能指標に基づく免震層性能と設置層の合理的決定法	2021 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	張鐘鳴
132	吉富信太	CLT 耐震壁の配置の違いが建物性能に及ぼす影響についての検討	2021 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	星山和輝
133	SHAKYA Lata	Post-disaster response by the local community utilizing local resources (physical and social): A case of historic city Patan, NEPAL	2021 年 6 月	Disaster Management and Humanitarian Assistance (DMHA) Workshop	SHAKYA Lata
134	SHAKYA Lata	Disaster Risk Management of Cultural Heritage: the concept and the case study of Nepal	2021 年 7 月	NEAJ Webinar on Architectural planning and Design: Sharing Professional Experience and Academic Research Work	SHAKYA Lata
135	SHAKYA Lata	2015 年ゴルカ地震後の公的な災害対応体制と自主的避難所の運営	2021 年 7 月	歴史都市防災シンポジウム	サキヤラタ、大窪健之、小川和馬、金 度源
136	SHAKYA Lata	International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management (DRM) of Cultural Heritage (CH): Our Progress and Challenges Towards New Normal	2021 年 9 月	5th Global Summit of GADRI: Engaging Sciences with Action	Lata Shakya, Takeyuki Okubo, Downon Kim
137	SHAKYA Lata	歴史都市パタンにおける地域資源を活かした中庭空間のみなし避難所としての運営	2021 年 9 月	日本建築学会全国大会	サキヤラタ、大窪健之
138	大橋弘明	都市縮小時代での伝統的建造物群保存地区の社会的脆弱性と今後のコミュニティ防災に関する考察-豊岡市出石伝統的建造物群保存地	2021 年 7 月	第 15 回歴史都市防災シンポジウム	大橋弘明 (発表者), 留野僚也, 豊田祐輔, 酒井宏平, 鐘ヶ江秀彦

		区を事例としてー			
139	大橋弘明	Re-planning for the shrinking suburbs of polycentric Tokyo Metropolis	2021年11月	Séminaire CRIA, UMR8504 Géographie-cités (フランス国立科学研究センター、パリ第1パンテオン・ソルボンヌ大学、パリ大学、社会科学高等研究院による共同研究ユニット), Greater Paris (Aubervilliers, Seine-Saint-Denis), France	大橋弘明
140	CHEEK Wesley Webb	The Social Reduction of Risk: History, Tangible, and Intangible Heritage in Minamisanriku, Japan	2021年7月	第15回歴史都市防災シンポジウム	Wesley Cheek

(4). 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第15回歴史都市防災シンポジウム	オンライン開催 (Zoom)	2021年7月	150名	
2	INTERNATIONAL TRAINING COURSE (ITC) on DISASTER RISK MANAGEMENT of CULTURAL HERITAGE 2021, 15th year Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM [Online]	オンライン開催 (Zoom)	2021年	15名	ICCROM

5. その他研究活動 (報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	阿部俊彦	朝日新聞「屋根の飾り復元 どうする」朝日新聞 (全国版) 2021年3月21日25面 (誌面にコメント掲載)	朝日新聞 (全国版)	2021年3月
2	阿部俊彦	「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第8回 入江雄太郎 (法隆寺収蔵庫) (1952) 文化財収蔵施設としての『土蔵』の発見」青柳憲昌『ディテール』(228号) 2021年4月号、彰国社、pp. 77-84	『ディテール』	2021年4月
3	阿部俊彦	「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第9回 日本の建具の可能性 「建具」をめぐる近代の伝統解釈とその瓦解」青柳憲昌『ディテール』(229号) 2021年7月号、彰国社、pp. 91-98	『ディテール』	2021年6月
4	阿部俊彦	「文化財防災」の象徴としての法隆寺金堂焼損壁画一昭和大修理における写真撮影による記録保存、および合成樹脂による保存処理について」立命館大学歴史都市防災研究所定例研究会、2021年6月19日	オンライン	2021年6月
5	阿部俊彦	「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第10回 丹下健三 建築の「レガシー」とは何か」青柳憲昌『ディテール』(230号) 2021年9月号、彰国社、pp. 89-96	『ディテール』	2021年9月
6	阿部俊彦	彦根銀座街まちづくり	彦根市	2020年～2021年
7	阿部俊彦	南草津の公共空間活用まちづくり	草津市	2020年～2021年
8	阿部俊彦	高知県宿毛市片島地区の事前復興まちづくり	宿毛市	2020年～2021年
9	阿部俊彦	滋賀県大津市平野学区のまちづくり	大津市	2021
10	阿部俊彦	滋賀県びわこ文化公園ワークショップ	滋賀県	2021
11	阿部俊彦	滋賀県草津市老上西学区まちづくり	草津市	2021年～2022年

12	阿部俊彦	福井県おおい町シナリオメイキングまちづくり	おおい町	2020年～2021年
13	阿部俊彦	RIA まちづくりフォーラム	RIA	2021年11月
14	阿部俊彦	景観開花2021 審査員	東北大学	2021年11月
15	阿部俊彦	立命館大学スポーツ健康科学研究センター設立10周年シンポジウム	立命館大学	2021年11月
16	阿部俊彦	国土交通大学校 専門課程 建築計画(企画・設計)研修 講師	国土交通大学校	2021年10月
17	阿部俊彦	首都直下地震に備える「戸塚協働復興活動 2021」第1回セミナー	早稲田都市計画フォーラム	2021年10月
18	阿部俊彦	都市計画コンサルタント協会 関西地区講習会 講師	都市計画コンサルタント協会	2021年7月
19	阿部俊彦	都市環境デザインフォーラム2021	JUDI 関西ブロック	2021年5月
20	阿部俊彦	第2回都市環境デザインセミナー「東日本大震災の知の継承」	JUDI 関西ブロック	2021年3月
21	阿部俊彦	巨大災害に備える - 事前復興まちづくりは今 -	早稲田都市計画フォーラム	2021年2月
22	宇佐美智之	研究紹介: 全国高地性集落に関するデジタル資料化およびデータベースプロジェクト	立命館大学アート・リサーチセンター ARC Days 2021	2021年7月
23	宇佐美智之	GIS空間分析から読む弥生時代の集落の立地と眺望	2021年度弥生時代講座 聞いてなっとく 弥生の世界(招待講演), 大阪府立弥生文化博物館	2021年10月
24	大窪健之	歴史的建造物と歴史的町並みを災害から守る方法を学ぶ～清水寺と周辺地域での取り組み	京都府建築士会連続講座(3/3回)	2021年2月
25	大窪健之	伝統的な減災の知恵と住民視点の防災まちづくり	京のまちづくり史連続講座(令和2年度 景観・まちづくり大学)	2021年2月
26	大窪健之	歴史的建築物と防災	令和2年度大阪府ヘリテージマネージャー・ステップアップ講座(スキルアップ講習)	2021年2月
27	大窪健之	Disaster risk management cycle: Mitigation and Adaptation	The 2nd Training Workshop on Disaster Risk Management for Cultural Heritage in Southeast Asia; Understanding People, Nature, Culture: Heritage Management for Building Resilience of Living Traditional Settlements	2021年4月
28	大窪健之	歴史的建造物の防火手法と地域防災拠点化	大阪府登録文化財所有者の会, 泉南市・rojica	2021年7月
29	大窪健之	Learning from the Japanese and Malaysian Experience Towards renewing our commitments to the UNDRR Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015-2030	SENDAI 2030: DPPC WEBINAR SERIES	2021年7月
30	大窪健之	” Effective Fire Spread Mitigation by Traditional Knowledge ～ Group of Trees in Japanese Historic Districts ～”	Using Traditional Knowledge for Disaster Risk Reduction: From Words into Action	2021年7月
31	大窪健之	” Project for Protecting Historic District of Wooden Buildings from Fires due to Earthquakes, in Kiyomizu, Kyoto”	PREVENT: Mitigating Fire Risk for Heritage	2021年7月
32	大窪健之	歴史的建造物や緑地による減災の知恵と地域一体の消火器配備	大阪府登録文化財所有者の会@豊中市・奥野家住宅	2021年9月
33	大窪健之	伝統的な緑地による「減災の知恵」と文化財の防火設備と地域一体の消火器配備	第3期沖繩県ヘリテージマネージャー養成講習会	2021年11月
34	大場修	「占領下京都の「接収住宅」事情」	『鴨東通信』思文閣出版	2021年4月
35	鐘ヶ江秀彦	CPSにおけるよるまちづくりとまちの保全	e スタジアム通信 vol.2、大阪eスポーツ研究会(委員長)、日本不動産学会・資産評価政策学会秋季全国大会シンポジウム2021(講演)や日本シミュレーション&ゲーミング秋季全国大会シンポジウム2021(講演)など	2019年度～2021年度

36	鐘ヶ江秀彦	Why Do Simulation and Games Drive the Digital Transformation of Cities and Regions?	ISAGA2021年5月2nd Annual Conference Webinar Series, Webinar-24 Saturday, 10-07-2021	2021年7月
37	鐘ヶ江秀彦	Opening adress and Keynote on Simukation & Gaming as Virtuality & Reality Fusion for ISAGA Summer School 2021	ISAGA Summer School 2021, 23/08/2021	2021年8月
38	鐘ヶ江秀彦	Keynote: "Inheritance of Historical Cities: Natural Disasters and City Life Span in the Anthropocene"	International Conference on "INVISIBLE RECONSTRUCTION. Cross disciplinary responses to disaster and approaches to sustainable resilience", 09012021	2021年9月
39	鐘ヶ江秀彦	大阪府・市が提案する大阪市のスーパーシティ構想と近未来におけるスーパーシティの都市社会の課題	日本不動産学会・資産評価政策学会秋季全国大会シンポジウム・座長趣旨解題およびパネルディスカッション司会兼パネリスト (2021年11月/27)	2021年11月
40	鐘ヶ江秀彦	CPS 社会におけるシミュレーション (Simulation for Cyber Physical Systems' Society)	日本シミュレーション&ゲーミング秋季全国大会シンポジウム・パネルディスカッション座長兼パネリスト(2021年12月/03)	2021年12月
41	金度源	Community Engagement Models: Community involvement on sites to make sustainable DRM plan of heritage settlement,	The 2nd Training Course on Disaster Risk Management for Cultural Heritage in Southeast Asia/ Understanding People, Nature, Culture: Heritage Management for Building Resilience of Living Traditional Settlements	2021年5月
42	金度源	UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, Online International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2021	ICORP member`s presentation - Webinar Series/ Innovation and Trainings	2021年7月
43	金度源	災害と避難経路について/ 深草学区のオリジナル避難マップ作成を目指して	京都市伏見区深草学区防災勉強会	2021年7月
44	金度源	みんなでつなぐ南草津の未来へ/ 魅力的なまちづくりを目指した学際的な取り組み	2021年度第2回アーバンデザインセミナー	2021年7月
45	金度源	草津市議会の災害時対応と防災コミュニケーション能力強化 / 多様化・巨大化していく災害とその準備について	草津市市議会議員クラブ防災勉強会	2021年8月
46	金度源	A Study of Disaster Risk Management for Cultural Heritage	KNUCH UNESCO Chair 国際研修	2021年10月
47	金度源	景観と防災を両立させる実践と事業化に向けた取り組み	柳都新潟 古町花街イベント「知って守ろう! 花街の防災まちあるき」	2021年11月
48	金度源	The Need for Disaster Risk Management of Cultural Heritage in Historic Cities: The Case of Kyoto	NDRI UNESCO chair Webinar	2021年12月
49	金度源	京都市伏見区深草総合防災訓練指導	京都市立藤城小学校	2021年12月
50	金侖美	上田記念財団 奨学寄附金 研究課題: コンクリートと補修材の乾燥収縮による変形か断面修復付近の応力発生に及ぼす影響		2021年4月~2022年3月
51	金侖美	旭硝子財団 奨学寄附金 研究課題: 鉄筋コンクリート構造物への電気インピーダンストモグラフィ技術の適用		2021年4月~2022年3月
52	金侖美	大成学術財団 奨学寄附金 研究課題: 電気化学ノイズ法による耐候性鋼と亜鉛めっき鋼のコンクリート用鉄筋としての適用性の確認		2021年4月~2022年3月
53	金侖美	大林財団 奨学寄附金 研究課題: プレストレストコンクリートの圧電特性にシースの材種が及ぼす影響		2021年4月~2022年3月
54	金侖美	日本コンクリート工学会 奨学寄附金 研究課題: カーボンナノチューブ混和コンクリートの施工性と圧電性能の向上		2021年4月~2022年3月
55	金侖美	断面修復コンクリートの早期劣化防止に関する研究 (講演)	東海コンクリート診断士会	2021年5月
56	佐藤弘隆	京都の鉄道・バス 写真データベース	web データベース	2016年



57	佐藤弘隆	近代京都映像データベース	web データベース	2018年
58	佐藤弘隆	歴史文化都市京都の町文書データベース	web データベース	2018年
59	佐藤弘隆	祇園祭デジタル・ミュージアム 2020 ―祇園祭の過去・未来・現在―	Web サイト	2020年7月
60	佐藤弘隆	長江家住宅研究資源データベース	Web データベース	2020年7月
61	高橋学	「迫りくる巨大災害―震災・水害発生メカニズムを探る―」	中国地方損害保険協会、ピアリティまきび	2021年
62	高橋学	「環境史・開発史・災害史からみた輪中の時代」	大垣市輪中研究会、スイトピア	2021年
63	豊田祐輔	「オンライン留学」とは？日本のオンライン留学の現状」&「立命館大学×UCD と共同開発したプログラムの紹介」	立命館大学オンラインプレスセミナー：変化する留学事情とニューノーマルとしての“オンライン留学”	2021年1月
64	豊田祐輔	ままならぬ留学 今できること(取材対応)	『京都新聞』夕刊、1面	2021年2月13日
65	豊田祐輔	留学、合同授業、著名な研究者招聘 進化するオンライン留学 (取材対応)	週刊東洋経済臨時増刊 本場に強い大学 2021	2021年6月
66	豊田祐輔	歴史都市ならではの備え(取材対応)	『京都新聞』夕刊、2面	2021年12月15日
67	豊田祐輔	防災意識の向上に向けて～「実践的防災」から「お手軽防災」まで～	滋賀県『Web 防災カフェ』	2021年6月
68	豊田祐輔	Introduction to the SDGs	Ritsumeikan University “ Online Program in Ritsumeikan OIC: Sustainable Development Goals (SDGs) Online Program”	2021年8月
69	豊田祐輔	歴史都市における観光客の防災	立命館土曜講座	2021年12月
70	豊田祐輔	Community Response to COVID-19 in Japan	4th Collaborative Workshop on Housing and Urban Development between the College of Policy Science of Ritsumeikan University and the Faculty of Architecture of Chulalongkorn University	2021年12月
71	仲谷善雄	Investigation of Information Requirements for Smartwatch-Based Evacuation Support System	23rd HCI International Conference. (HCI International 2021),	2021年7月
72	仲谷善雄	安全・安心を目指す組織とレジリエンス・エンジニアリング	建設電気技術協会 技術研究発表会 基調講演	2021年11月
73	夏目宗之	近代に至る関東農村地域の土地利用成立過程の解明	日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援	2021年8月-2023年3月
74	夏目宗之	近世古文書史料を空間情報として可視化する	GIS NEXT75	2021年5月
75	夏目宗之	江戸幕府による農村開発モデルの解明	公益財団法人 日本科学協会 笹川科学研究助成	2021年4月～2022年3月
76	深川良一	土砂災害に備える	おうみ発 630 出演 (NHK 大津)	2021年6月
77	深川良一	土砂災害	令和 3 年度滋賀県自主防災組織リーダー・防災士養講座 (聖泉大学)	2021年9月
78	深川良一	土砂災害	令和 3 年度滋賀県自主防災組織リーダー・防災士養講座 (滋賀県庁)	2021年11月
79	深川良一	激化する土砂災害に備える	あいこうか生涯カレッジ	2021年11月
80	深川良一	和歌山県那智勝浦町における土石流災害およびその復興状況	立命館大学防災フロンティア研究センター防災情報シンポジウム	2022年1月
81	福山智子	RC 建造物の電気化学的挙動に基づく劣化診断に関する基礎研究	東海コンクリート診断士会	2021年5月
82	矢野桂司	『地理総合』における「GIS」活用について	京都府総合教育センター 令和 3 年研修講座	2021年12月
83	矢野桂司	デジタル資料からたどる昔と今のまちなみ	令和 3 年度景観・まちづくり大学	2022年2月
84	山田悟史	社会人教育と大学教育で加速する建築情報の学び	Archi Future 2021 S-6	2021年
85	山田悟史	AI と人の共創: 人・建築都市デザインの拡張を目指して	空気衛生調和学会 空気調和・衛生工学会 建物の管理・運用における AI 活用小委員会	2021年

86	山田悟史	データサイエンスとデザイン	建築情報学会 Session Vol.6	2021年
87	山本理佳	ツーリズムが求める産業遺産の歴史性とデジタルテクノロジー	立命館土曜講座(ツーリズム・文化資源・デジタルテクノロジー)	2022年1月
88	SHAKYA Lata	ネパールの居住文化とコミュニティ・レジリエンス-カトマンズ盆地を中心に	昭和女子大学人間社会学部 現代教養学科 特別講演	2021年1月
89	SHAKYA Lata	Community Participation and Disaster Risk Management in Historic cities of Nepal	A talk program on "Community Participation and Disaster Risk Management in Historic cities of Nepal"	2021年1月
90	SHAKYA Lata	"Diaspora Engagement for Higher Education in Nepal : Exploring Possibilities of Collaboration"	Brain Gain Center WEBINAR SERIES 2	2021年4月
91	SHAKYA Lata	世界遺産と持続可能な開発—2015年ゴルカ・ネパール地震を通して	立命館守山高等学校 特別講演	2021年10月
92	大橋弘明	Transit Oriented Development (TOD): Japanese Experiences and Beyond	3rd Collaborative Workshop on Housing and Urban Development (on Zoom) (with Faculty of Architecture, Chulalongkorn University)	2021年3月
93	大橋弘明	都市計画分野での ICT 活用・スマートシティ化とスリランカ国での計画技術向上について	ICT・技術に関する JICA 勉強会 (JICA 都市・地域開発 KMN[内部ナレッジグループ]向け) (on Microsoft Teams)	2021年4月
94	大橋弘明	パネリスト	Invisible Reconstruction - Cross disciplinary responses to disaster and approaches to sustainable resilience	2021年9月
95	大橋弘明	Urban Policy and Planning (ゲストスピーカー)	立命館大学政策科学研究科「Advanced Policy Studies」コースでの一講義	2021年10月
96	大橋弘明	New Planning Challenge for Urban Sustainability: Housing, Low-income Group, and COVID-19	4th Collaborative Workshop on Housing and Urban Development (on Zoom) (with Faculty of Architecture, Chulalongkorn University)	2021年12月
97	CHEEK Wesley Webb	Thinking about Disaster Recovery Through a Social Science Lens	歴史都市防災研究所・ICCROM	2021年9月
98	CHEEK Wesley Webb	Workshop on Designing recovery process	歴史都市防災研究所・ICCROM	2021年9月

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	阿部俊彦	日本建築学会	技術部門設計競技「新時代のレジリエント建築・都市」佳作	農知による水害レジリエント建築	2021年
2	大窪健之	Le Vie Dei Mercanti	Best Paper Award, Abitare la Terra/Dwelling on Earth	Capacity estimation of historical temples and shrines around Kiyomizu World Cultural Heritage site for supporting evacuation lives of visitors during disaster	2021年7月
3	大窪健之		京都市長表彰「令和3年京都市自治記念日表彰：京都らしいまちづくりの推進」		2021年10月
4	大場修	日本建築学会	2021年日本建築学会著作賞	「京町家カルテ」が解く—京都人が知らない京町家の世界	2021年5月
5	金度源	special issue of the Quaderni dedicated to the XIX International Forum WORLD	BEST PAPER AWARDS	Capacity estimation of historical temples and shrines around Kiyomizu World Cultural Heritage site for	2021年8月

		HERITAGE and DESIGN FOR HEALTH		supporting evacuation lives of visitors during disaster	
6	夏目宗之	地理情報システム学会	地理情報システム学会賞 (研究奨励部門)		2021年10月
7	宗本晋作	日本建築家協会	日本建築家協会優秀建築選 2021	杉の子プレイグラウンド	2021年11月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	花岡 和聖	センサスデータを用いたオーストラリアにおける移民の地方定住に関する地理学的研究	基盤研究(C)	2022年4月	2026年3月	代表
2	大窪 健之	火災から木造文化都市を守る歴史的な水利環境の再生に関する研究	基盤研究(B)	2022年4月	2025年3月	代表
3	阿部 俊彦	シナリオプランニングを用いたまちづくりワークショップ手法と情報データベースの開発	若手研究	2022年4月	2025年3月	代表
4	寺床 幸雄	農山村の防災・減災に向けた地域類型と地域内知識に関する基礎的研究	若手研究	2022年4月	2025年3月	代表
5	藤井 健史	モンテカルロシミュレーションによる樹木配置条件と緑視率期待値の数式化	若手研究	2022年4月	2026年3月	代表
6	本間 睦朗	建築における光の扱い方の、建築様式との関連に関する研究	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	代表
7	大橋 弘明	都市縮小期での京都市の NPO 法人活動の再活性化のための都市政策・計画手法の研究	若手研究	2022年4月	2025年3月	代表
8	北本 英里子	音と空間知覚に着目した仮想空間におけるデザイン支援ツールの開発	若手研究	2022年4月	2027年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	大窪健之	文化遺産防災シンポジウム (仮)	鹿島学術振興財団 2022 年度国際学術交流援助 (国際研究集会援助)	2022年3月	2023年3月	研究代表者
2	福山智子	コンクリートと補修材の乾燥収縮による変形が断面修復付近の応力発生に及ぼす影響	上田記念財団 奨学寄附金	2021年4月	2022年3月	共同研究者
3	福山智子	電気化学ノイズ法による耐候性鋼と亜鉛めっき鋼のコンクリート用鉄筋としての適用性の確認	大成学術財団 奨学寄附金	2021年4月	2022年3月	研究代表者
4	福山智子	プレストレストコンクリートの圧電特性にシースの材種が及ぼす影響	大林財団 奨学寄附金	2021年4月	2022年3月	研究代表者
5	福山智子	カーボンナノチューブ混和コンクリートの施工性と圧電性能の向上	日本コンクリート工学会 奨学寄附金	2021年4月	2022年3月	研究代表者
6	福山智子		旭硝子財団 奨学寄附金	2021年4月	2024年3月	研究代表者

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	大窪健之	地域防災情報システム	本学共同者	その他	2020-070342			日本
2	大窪健之	消火用ノズル	本学共同者	筆頭発明者	2014-206815			日本
3	藤本将光	透水試験装置および透水試験方法	本学共同者		2013-193946			日本
4	藤本将光	土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同者		2015-102216			日本
5	持田泰秀	水硬性固化材液、水硬性固化材液の調整方法、及び、置換柱体の	本学以外	その他		特開 2021-095320	特開 2021-095320	日本

		築造方法						
--	--	------	--	--	--	--	--	--